

社会課題対応型都市公園機能向上促進事業 活用事例集

国土交通省都市局公園緑地・景観課
令和7年6月

目次

— 事例集について —

事例集の目的	3
社会課題対応型都市公園機能向上促進事業の概要	3

— 事例 —

公園名	公園管理者	事業期間 (補助期間)		テーマ					頁
		始期	終期	UD	感染症	ストック効果	DX	Park-PPP	
<u>小柴自然公園</u>	横浜市	R4	R4	○		○			4
<u>大枝公園</u>	守口市	R4	R4	○		○			13
<u>愛・地球博記念公園</u>	愛知県	R4	R5	○		○			23
<u>三楽公園</u>	小金井市	R4	R5	○		○			32
<u>野津田公園</u>	町田市	R4	R4			○			41
<u>入江運動公園</u>	室蘭市	R4	R5			○			49
<u>千葉公園</u>	千葉市	R4	R5			○			58
<u>万斛庄屋公園</u>	浜松市	R4	R5			○			67
<u>熊野灘臨海公園</u>	三重県	R4	R5			○			76
<u>河岸緑地</u>	広島市	R4	R5			○			85
<u>猿渡公園</u>	刈谷市	R5	R5				○		93

※本事例集は、社会課題対応型都市公園機能向上促進事業の支援をうけた取組が完了した事業から、今後も追加していく予定しております。

事例集の目的/社会課題対応型都市公園機能向上促進事業の概要

事例集の目的

本事例集は、社会課題対応型公園機能向上促進事業により支援を行った事業について、他の都市公園のモデルとなる取組の成果を全国に横展開することで、都市公園の整備及び運営管理を通じた社会課題の解決を推進することを目的としています。

» 社会課題対応型都市公園機能向上促進事業

令和4年度に創設された社会課題対応型都市公園機能向上促進事業は、国として推進すべき施策への対応として、他の都市公園の参考(モデル)となる取組みを行う都市公園の整備を支援する事業です。ハード・ソフト上の取組等において満たすべき一定の要件を示した上で、モデル的な取組を行う公園を募集・選定し、個別補助金を用いて集中的な支援を実施しています。

対象となるテーマは下記のとおりです。

対象テーマ	対象となる整備	ソフト面の取組
ユニバーサルデザイン化	<ul style="list-style-type: none">子育て世代や障がい者の意見等をもとに、ユニバーサルデザイン化、利用サポートの提供等を行う公園の整備	<ul style="list-style-type: none">多様な主体との連携による管理体制の構築（公園協議会の形成等）多様な利活用を受け入れるためのルールづくり（市民意見の調査、ワーキングショップの開催等）新たな利活用を広げるための社会実験効果の検証 等
感染症対策	<ul style="list-style-type: none">公衆衛生の専門家の意見等を踏まえ、施設の衛生対策や密を避けて楽しめる仕掛けづくり等を行う公園の整備	
ストック効果の向上	<ul style="list-style-type: none">住民意見を取り入れる手続きや他分野との連携等を通じ、まちづくりの課題に対応しながら、管理費の削減や利用満足度の向上に結び付く付加価値の高い公園の整備	
DXの活用	<ul style="list-style-type: none">デジタル技術や利用実態等に関するデータの活用、オープンデータ化により、公園管理の効率化や、公園利用効果の最大化等に取り組む公園の整備	
Park-PPP（官民連携による総合的な整備・管理運営）	<ul style="list-style-type: none">公共施設等運営事業など、官民連携による総合的な整備・管理運営の導入が具体化した公園の整備	

小柴自然公園（横浜市）（1 / 9）



公園の概要

- 事業主体：神奈川県横浜市
 - 所在地：横浜市金沢区長浜116番2
 - 公園種別：広域公園
 - 供用面積：約11.6ha（R5.9時点）
 - 主な公園施設：
緑の広場空間創造エリア（第1期）
センター広場、多目的広場、大型遊具広場、草地広場
里山空間再生エリア（第2期）
里山農体験施設、展望広場、草地広場、体験水田
自然環境保全エリア（第2期）
自然環境保全施設
活動・体験・学習エリア（第3期）
環境学習・体験広場（緑化見本園）、森の広場、タンク広

公園位置圖



ユニバーサルデザイン化
ストック効果の向上

■ゾーニング計画



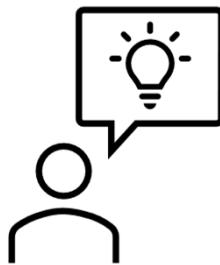
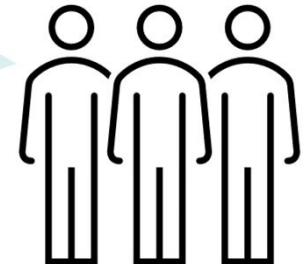
エリア	エリアの考え方
緑の広場空間創造エリア (東側低地) 【第1期】	平坦な地形を活かした広場を中心とした空間とし、緑花も含めた新たな緑の創造を図る。また、管理センターや駐車場など管理施設を配置する。
里山空間再生エリア (南側谷戸) 【第2期】	計画地南側の市民農園（柴シーサイドファーム）に隣接し、ホタルなどが生息する細長い谷戸地形となっている。生物の生息環境の再生や市民協働による樹林地の保全などを行いながら、農業体験もできる里地里山空間の再生を目指す。
自然環境保全エリア (北側谷戸) 【第2期】	旧来の樹林地など自然環境の保全を基本とする。
活動・体験・学習エリア (丘陵上部平坦地) 【第3期】	地下タンクなどの処理を行なうとともに、緑の再生を図るとともに、緑や環境に係る様々な活動や体験、学習の場を目指す。

小柴自然公園整備概要図（基本設計）

小柴自然公園（横浜市）（2/9）

【地域が抱える社会課題】

- ・本公園は横浜市金沢区東部に位置する米軍基地（旧小柴貯油施設）の跡地等に整備される公園であり、「（仮称）小柴貯油施設跡地公園基本計画（平成26年7月）」を策定し、平成29年から公園整備を進めている。
- ・整備に当たっては、障がいの有無にかかわらず楽しめるインクルーシブな公園に対するニーズの高まりへの対応が求められていた。

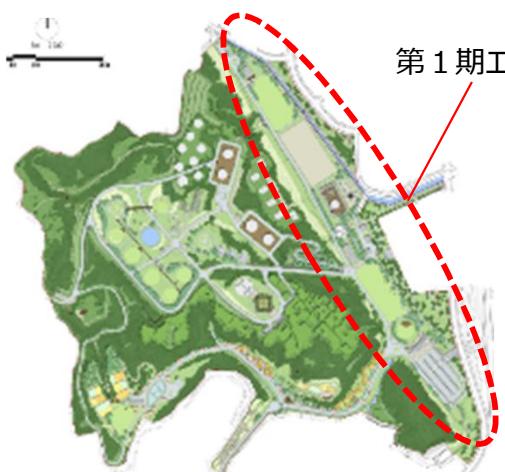


【社会課題に対応した公園整備】

- ・本公園の第1期エリアにおいて、横浜市内で初となるインクルーシブな遊具広場を整備することにより、障がいの有無に関わらず誰もが一緒に楽しめる公園とすることとした。
- ・整備に当たっては、計画段階から健康福祉部局や障がい者団体、専門家等と連携するとともに、施工段階でもカラーリングやコントラスト等について専門家等と連携。
- ・遊具、サインも工夫を凝らすとともに、多様な利用者が憩える休憩スペースの整備や、容易にアクセスできるよう駐車場の位置についても配慮。



取組の概要



小柴自然公園全体



第1期エリア



遊具広場全景



草地広場



実施体制

主担当部署

（計画・検討段階）

- ・計画策定では、環境創造局 公園緑地部 公園緑地整備課の職員2名（うち技術職員2名）が主担当者として業務にあつた。
- ・国庫補助事業の事業計画書の検討・作成は、みどりアップ推進課4名（うち技術職員2名）と公園緑地整備課が協力して行った。

（実施段階）

- ・設計、施工は、公園緑地整備課（担当職員2名（うち技術職員2名））が行っている。
- ・事業実施後は環境創造局 南部公園緑地事務所（担当職員4名（うち技術職員2名））が主担当部署となり、事業の管理運営を行う。

小柴自然公園（横浜市）（3/9）

取組の背景

時期	内容
平成18年度 (2006年度)	米軍施設返還跡地利用方針の策定
平成19年度 (2007年度)	旧小柴貯油施設跡地利用基本計画の策定
平成24年度 (2012年度)	国有地の処分方針の決定（財務省）
平成26年度 (2014年度)	（仮称）小柴貯油施設跡地公園基本計画の策定
平成25年度 (2013年度) ～ 平成29年度 (2017年度)	公園の環境影響評価の実施、都市計画の手続き等
平成29年度～ (2017年度)	公園整備着手
令和3年度 (2021年度)	第1期エリアの一部開園、大型遊具広場にインクルーシブな遊具を設置するための検討、設計（市の健康福祉部局や障害者団体、専門家等との連携やヒアリング等の実施）
令和4年度 (2022年度)	大型遊具広場（インクルーシブな遊具広場）等の整備、多目的広場、駐車場、トイレ、園路、植栽、ベンチ等の整備
令和5年度 (2023年度)	大型遊具広場を含む第1期エリアの開園（9月）

小柴自然公園（横浜市）（4 / 9）



プロセス面のモデル性

- ・計画段階において、市の健康福祉部局や障害者団体、専門家等との連携やヒアリング等を実施
 - ・施工段階において、より使いやすい施設となるよう、カラーリングや収まり等について、専門家等にヒアリング等を実施。また、遊具や舗装の視認性が向上するよう、カラーリングやコントラスト等について、専門家等にヒアリングしながら決定するとともに、施工現場にストレッチャーを持ち込み、利用しやすいよう、遊具や休憩施設等の収まりについて調整。



椅子型ブランコの施工の様子



施工過程における車いすを活用した使用感の確認

小柴自然公園（横浜市）（5/9）



ハード面のモデル性

- 遊具広場について、遊具広場の利用者がより安全かつ快適に楽しめるよう以下の点について配慮
 - ① 難易度に幅があり、誰もが自分にあった遊びを楽しめる遊具の整備
 - ② 遊具機能に配慮したゾーニング
 - ③ 自分の居場所を見つけられるスペースの整備
 - ④ 子どもの行動特性に配慮するための遊具の使い方のサインの整備、情報提供 等
- 家族が憩えるような仕組みとして、障がい者団体や養護学校等へのヒアリングに基づき、介助用の物品が多くベンチが利用しやすい方も使いやすいよう、野外卓を追加するなど、より多様な利用者が憩える休憩スペースを整備している。
- 遊具広場へ容易にたどり着けるような配慮として、車椅子利用者等が利用可能な駐車場を遊具広場隣接区域に設置。また、車椅子使用者用駐車施設の設置数の増（全駐車台数に対して2以上→5台）、車椅子用リフト付福祉車両等の駐車や乗降を考慮した奥行きの確保（600cm以上→700cm）、駐車場内の歩行者用通路のカラー舗装による安全確保等も実施。



遊具広場全景



利用状況



駐車場

小柴自然公園（横浜市）（6/9）



ソフト面のモデル性

①子どもの行動特性に配慮した誰でもわかりやすいサインの設置

- 遊具広場の使い方や注意点を誰でもわかりやすいビジュアルで伝えるサインを設置。

②遊具広場の使い方の紹介動画の作成・発信

- 計画段階でヒアリングを実施した障がい者団体が作成した遊具広場の紹介動画を、市のホームページに掲載（外部リンク）。
- 今後、市でも遊具広場の使い方の紹介動画を作成し、事前に遊具広場の様子や、駐車場、トイレ、休憩施設等の付帯施設を確認し、安心して来園できるよう、市のホームページ等で発信予定。

③整備後のフォローアップとフィードバックの実施

- 遊具広場や駐車場、トイレ、休憩施設等の付帯施設の利用に関するアンケートやヒアリング等のフォローアップを行い、施設や管理運営面でのフィードバックにつなげる予定（フォローアップはR5、R6に実施）。



エントランスのサイン



サインの内容
遊具の使用方法だけでなく、多様なこどもたちがいることへの理解を促すサインとなっている



遊具広場の紹介動画
<https://www.youtube.com/watch?v=1Z1hvzoyNw8>

小柴自然公園（横浜市）（7/9）



緑の充実

- 本公園には米軍施設跡地に整備しており、特に今回整備したエリアにはポンプ施設やパイプラインが敷設されており**既存樹木がなかったため、新たに植栽を実施**。休憩空間と組み合わせた緑陰樹等の高木のほか、本公園の位置する金沢区にゆかりのある「金沢八名木」を植樹するなど、利用者が愛着を持てるような植栽を実施。今後、樹木の成長に伴い、緑の充実したエリアとなるよう計画。
- また、本公園は、「緑からつくり育む環境体感公園」が**基本テーマ**であり、緑の拠点とする計画。今後整備を予定する第2期エリア（里山空間再生エリア）にはホタルの生息する谷戸地形や旧来の樹林地が残されており、整備や管理運営の中で、さらに緑の充実した空間とする予定。加えて、第3期エリア（活動・体験・学習エリア）では、横浜150万本植樹行動（平成18年度～21年度）において地域の小学生が育てたドングリ苗をもとに樹林の再生を実施。



事業実施前の遊具広場



緑をいかした休憩スペース



草地広場



評価指標

インクルーシブな遊具広場の利用者の評価 (%)

従前値：－ 目標値：75%（基準年度：R5） 評価値：評価中

小柴自然公園（横浜市）（8/9）



関係者の声



【公園緑地整備課職員】

- ・本事業において設計から工事までを担当した。
- ・ヒアリングで出てくる意見がとても多様で、中には相反するものもあり、そこから設計にどう落とし込んでいくのかを決めていくのに苦労した。
- ・公園が利用者でにぎわっている様子や、意見をもとに設計に反映させたり工夫した部分が利用者に伝わっているのを感じたときに、頑張ってよかったと思った。
- ・今後は他の公園でもインクルーシブな公園づくりが進んでいくと思うので、今回の小柴自然公園でのノウハウを伝えていきたい。また、実際のどのような利用がされているのか調査を進めていきたい。



行政担当者

- ・未だかつて極めて少数派の医療的ケアが必要な子どもたちにまで配慮された公共施設はなかったと思います。ここまで意見を取り入れて実現してくださった担当のみなさんに感謝します。と同時に頑張って子どもたちの声を届けた保護者の方々にエールを送りたいです。
- ・多目的トイレにも大きなベッドがあり、車いすごと入っても十分に動きがとれる広さ。カラダが大きくなると、オムツ交換ができる場所難民になりがちなので、「あっちにもこっちにも行ける」は嬉しいポイント。
- ・インクルーシブ遊具がひとつずつでも地域の公園や教育機関などに配置されると良いなあ！と思います。
- ・すごく良いと思う。大きく宣伝されて、利用者が多いと逆に障害を持つ人が利用しにくいかと思っていたけれど、障がいを持つ人も沢山居て良い公園だと思った。
- ・考え方も、実際に利用できることも素晴らしい。これから公園はユニバーサルが標準になるべきだ。
- ・子供関連の仕事をしていて、インクルーシブ公園自体は以前から知っていた。実際身近にできて来てみて、使いやすいし広まってほしい



地域の方

小柴自然公園（横浜市）（9/9）



参考資料

- ・ 小柴自然公園基本計画
(<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/tsukuru/seibikeikaku/koshiba.files/kihonkeikaku.pdf>)
- ・ 小柴自然公園整備概要図
(https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/tsukuru/seibikeikaku/koshiba.files/0010_20220314.pdf)
- ・ 公園化までの経緯
(<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/kichi/beigun/atouchi-koshiba.html>)
- ・ インクルーシブ遊具広場の様子 (<https://www.youtube.com/watch?v=1Z1hvzoyNw8>)

【業務・工事等発注】

種別	概要	年度	受注者（指定管理者）
設計	（仮称）小柴貯油施設跡地公園第1期エリア実施設計業務委託（その2）	令和2年度	株式会社ランズ計画研究所
工事	小柴自然公園第1期エリア遊具広場基盤整備工事 施設撤去工事	令和3年度	大生建設株式会社
工事	小柴自然公園小柴埼東口便所棟新築工事 公園便所棟の新築工事	令和4年度	菅野建設株式会社
工事	小柴自然公園第1期エリア整備工事（その4） 遊具広場整備工事、多目的広場整備工事	令和4年度～5年度	泰山園・横浜緑地建設共同企業体
工事	小柴自然公園第1期エリア整備工事（その5） 草地広場整備工事、駐車場整備工事	令和4年度～5年度	堀江・横庭建設共同企業体

大枝公園（守口市）（1/10）



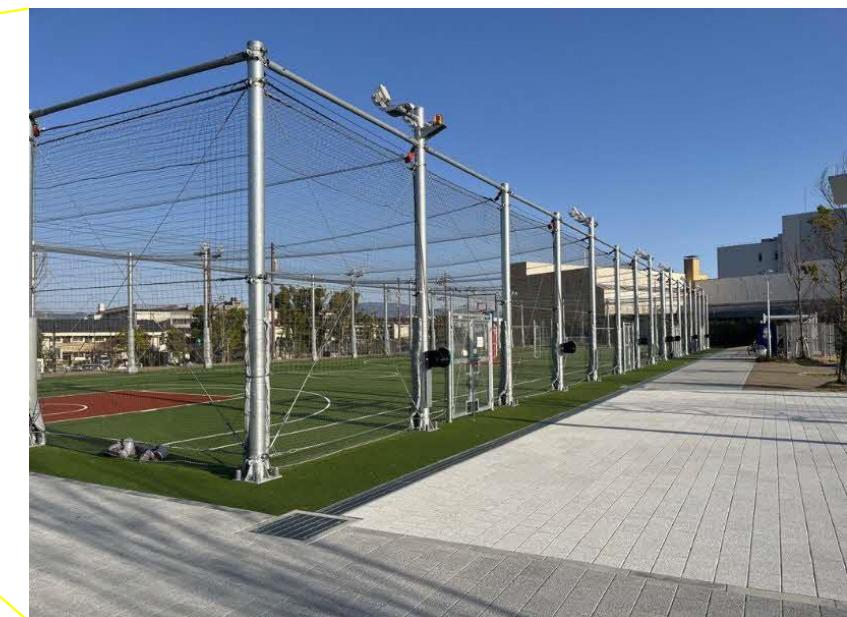
公園の概要

- 事業主体：大阪府守口市
- 所在地：守口市松下町3番地
- 公園種別：都市公園
- 供用面積：6.5ha
- 主な公園施設：フットサルコート、バスケットコート、ドッグラン

公園位置図



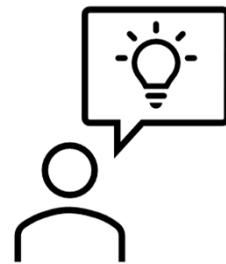
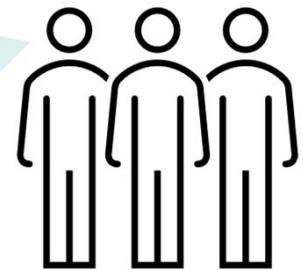
【公園概要図】



大枝公園（守口市）（2/10）

【地域が抱える社会課題】

- ・ 大枝公園の開設は昭和27年であり、公園施設の老朽化が深刻化している。
- ・ また、障がい者が安全に利用できない、授乳室等の子育て世代が必要とする機能についても不足している。
- ・ その他にも、防災機能を強化する必要がある等の課題が存在。



【社会課題に対応した公園整備】

- ・ スポーツや健康づくり、遊びや散歩や休憩、多彩な文化的活動、花・緑活動など幅広い年齢の方々のライフスタイルに合わせた多様な「楽しみ」や「にぎわい」、「交流」を後押しする空間づくり、利活用を通して元気が生まれる公園を目指しており、公園外周には防火樹林帯が設けられ、災害時に園内は広域避難場所やヘリポートとしても活用できる。
- ・ また防災拠点として、災害時に展開する自衛隊の装備車両が乗り入れられるよう幅員の広い園路があり、後方支援の活動拠点としての役割も備えている。
- ・ 具体的には、要望の多いドッグラン、バスケットボール、フットサルコートを整備し、賑わいや新たなコミュニティ形成、運動及びレクリエーションの場となる健康増進空間の形成を目指す。



取組の概要



整備前



整備後



実施体制

主担当部署
道路公園課
(5名)

関係団体
↔
指定管理者

大枝公園（守口市）（3/10）

取組の背景

時期	内容
平成26年度	基本構想の策定、基本計画及び基本設計 庁内協議会（4回）、基本構想（案）パブリックコメント実施
平成27年度	実施設計の実施、庁内協議会（2回）、自衛隊・守口市スポーツ協会（旧守口市体育連盟）協議
平成28年度	整備工事開始
平成29年度	大枝公園西側完成 守口市立地適正化計画策定
平成30年度	大枝公園伊賀市側完成 公園利用者アンケートを実施し、再整備の必要性についての要望、ニーズの高いスポーツを把握
平成31年度・ 令和1年度	守口市都市計画マスタープラン策定
令和3年3月	第6次守口市総合基本計画策定
令和3年度	大枝公園未開設部実施設計
令和4年度	再整備事業の着工、工事完了
令和5年度 (2023年度)	開園

大枝公園（守口市）（4/10）



ハード面のモデル性

- 各種施設整備に当たっては、検討段階において意見交換をおこなった内容をもとに、ニーズが高かった便益施設としてテラス広場の配置や、幅広い人が参画できる市民まつりやイベント等にも利用できるフットサルコート・バスケコートを整備した。
- さらに、誰にでも歩きやすい園路や植栽剪定や施設配置により見通しのよい空間を創出した。
- その他、公園を防災公園と位置づけ、防災トイレ等を設置し、災害時に備えた仕様とした。
- ユニバーサル化の観点においては、スロープ部については、降雨時や降雨後において水たまりやぬかるみ等が発生しにくい透水性のよい舗装を設置するとともにサインのデザインや位置に配慮。また、公園利用者がより安全かつ快適に使用できるように植栽剪定や施設配置の工夫による見通しの確保を実施した。



ドッグラン



フットサルコート



バスケットボールコート

大枝公園（守口市）（5/10）



ソフト面のモデル性

- 既整備エリアで地元プロチームとサッカー教室など連携しており、今後整備する施設においても、NPO法人・学校等との連携により、施設の性質に合わせた形で、地域密着型で地元ニーズにきめ細かく応える。
- 指定管理者の自主事業として日常のイベント時などに、実際に防災トイレなどを設置し、来園者向けに展示し、啓発を行っている。
- 指定管理者の自主事業として、健康・レクリエーション空間の提供というストック効果充実の観点から、緑化活動や清掃活動などの市民ボランティアとの連携や、健康づくりプログラムの開催などを実施している。



大枝公園（守口市）（6/10）



プロセス面のモデル性

- ・検討段階において、整備する施設の活用が想定される学校等の団体や、障がい者団体と意見交換をするとともに、平時・発災時において、幅広い人が運動施設や広場等の公園施設を効果的に利用できるようユニバーサルデザインを意識した施設整備を実施。
- ・施工段階においては、指定管理者として市の危機管理室や公園周りの地域防災組織と連携し、啓発活動に取り組んでいる。
- ・また、近隣住民や幼稚園、包括支援センターなどの関連団体と連携しながら事業を実施。



防災訓練



防災訓練



幼稚園との連携

大枝公園（守口市）（7/10）



緑の充実

- ・ 指定管理者の自主事業の一環として、市民と共同した緑化推進を目的とした「大枝公園花みどりサポーター」を立ち上げ活動中（令和4年度で3年目）。公園内の花壇の植替えや灌水などを共に活動している。
- ・ 隣接の中学校・高校生活部と連携し、さし木の実施。また、中学2年、3年生を対象に環境事業を月2回行い、学び場となっている。
- ・ これらの取組により、景観の向上に加え、地域コミュニティの活性化や、学生等のボランティア参加者への緑・花の育成啓発に効果をもたらしている。



評価指標

利用者満足度 (%)

従前値：70%（基準年度：H30） 目標値：80%（基準年度：R5） 評価値：76%（評価年度R4）

大枝公園（守口市）（8/10）



関係者の声



行政担当者



地域の方

【道路公園課職員】

本公園は守口市を代表する公園でありながら、休日の利用者も少なく公園本来の魅力や機能が低下している状態でした。そこで、整備コンセプトを「元気をチャージする公園」と掲げ、事業を進めるにあたり、地元の方や障がい者団体、子育て世代の方などいろいろな方の意見を伺いました。

また、平時だけでなく有事の際の防災拠点となるよう、計画段階で自衛隊などと協議も行い、また、整備後においても防災展などで防災意識の向上に努めています。

当該公園は一定面積はあるものの、多様な機能（防災・スポーツ・みどり）を詰め込んだため、敷地設定をどうするか大変苦慮しましたが、今では、市内だけでなく市外からの来場者も多く、まちの賑わいに大いに寄与していることが目に見え、そのことが事業のやりがいとなっております。

今後においても更なる賑わいの拠点及び地域のコミュニティの場となるようソフト事業の強化に努めていきたいと考えております。

【指定管理者】

プログラムやイベントなどを開催することで、「楽しみ」「にぎわい」「交流」の空間づくりを行っています。また、緑化活動や清掃活動などの市民ボランティアとの連携を通じ、公園へ親しみを持っていただけるよう努めています。

防災面では、市のイベントや自主事業において、市民の防災意識の向上を目的に、防災展などを開催しています。

今後においても、賑わいや安心・安全に寄与できるよう公園の指定管理者として管理していきたいと考えております。

・市と市民で、みどりの町を作っていくなら素敵だと思います。木の大切さを丁寧に説明し今後も木を大切に育ててください。台風の多い国なので、安全との間で大変だと思いますが、緑のまちづくりをお願いします。

・SNSを活用し今よりもっと情報発信を行ってほしいです。

・地域活性化にもつながる商店街や個人店舗などとの共同企画や、多世代の交流の場を今まで以上に行ってほしいと思います。

大枝公園（守口市）（9/10）



参考資料

第6次守口市総合基本計画策定

(<https://www.city.moriguchi.osaka.jp/kakukanoannai/kikakuzaiseibu/kikakuka/shiseinikanSURUKEIKAKU/1739.html>)

守口市都市計画マスタープラン

(<https://www.city.moriguchi.osaka.jp/kakukanoannai/toshiseibibu/toshikeikakuka/morigUCHISHITOSHIKEIKAKUMASUTAPURAN/271.html>)

大枝公園（守口市）（10/10）



参考資料

【業務・工事等発注】

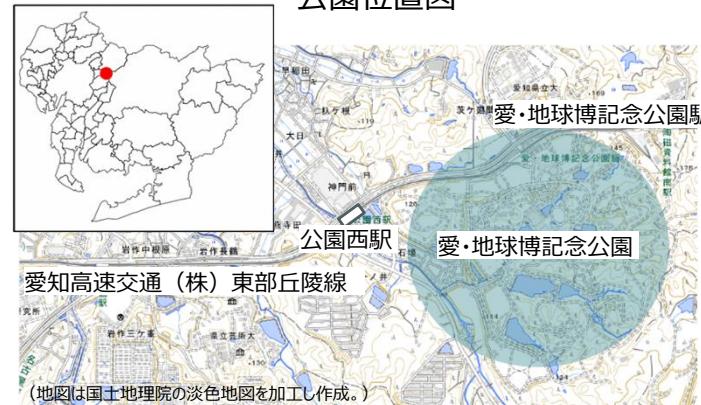
種別	概要	年度	受注者（指定管理者）
基本計画・基本設計	大枝公園再整備事業に係る基本計画及び基本設計業務委託	平成26年	株式会社 空間創研
造園設計	大枝公園再整備事業に係る造園実施設計業務委託	平成27年	株式会社 空間創研
建築設計	大枝公園再整備事業に係る建築基本設計及び実施設計業務委託	平成27年	株式会社 空間創研
工事	大枝公園再整備工事（西側その1）（基盤整備）	平成28年	株木建設株式会社 大阪支店
工事	大枝公園再整備工事（西側その2）（多目的球技場及びスタンド）	平成28年	岩田地崎建設株式会社 大阪支店
工事	大枝公園再整備工事（西側その3）（人工芝及び夜間照明）	平成28年	奥アンツーカ株式会社 近畿支店
工事	大枝公園再整備工事（西側その4）	平成29年	株式会社エコ・テクノ守口支店
工事	大枝公園再整備工事（西側その5）	平成29年	奥アンツーカ株式会社 近畿支店
工事	大枝公園再整備工事（園内歩道その1）	平成29年	株式会社大阪環境
工事	大枝公園再整備工事（園内歩道その2）	平成29年	株式会社大阪環境
指定管理	大枝公園全体指定管理	平成30年～令和2年	一般財団法人大阪スポーツみどり財団
工事	大枝公園再整備工事（東側その1）	平成30年	大勝建設株式会社
工事	大枝公園再整備工事（東側その2）	平成30年	大勝建設株式会社
指定管理	大枝公園全体指定管理	令和3年～令7年	一般財団法人大阪スポーツみどり財団
設計	大枝公園再整備工事（西側その6）実施設計業務委託	令和3年	株式会社 現代ランドスケープ
工事	大枝公園再整備工事（西側その6）	令和4年	株式会社エコ・テクノ守口支店

愛・地球博記念公園（愛知県）（1 / 9）



公園の概要

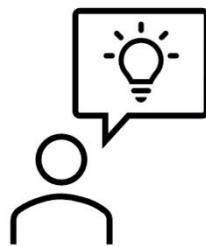
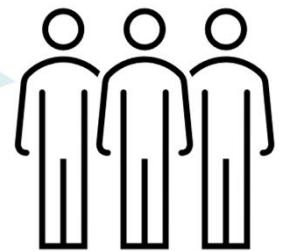
- 事業主体：愛知県
- 所在地：長久手市茨ヶ廻間
- 公園種別：広域公園
- 供用面積：207.4ha
- 主な公園施設：広場、日本庭園、アイススケート場、野球場、テニスコート、多目的球技場、地球市民交流センター、北エントランス、園路、駐車場、休憩所、管理事務所、猫の城遊具、子どものひろば、ジブリパーク



愛・地球博記念公園（愛知県）（2 / 9）

【地域が抱える社会課題】

- ・愛知万博開催後の開園から18年が経過（2024年時点）しており、公園施設が老朽化していることに加え、里山の自然を活かした公園であるため、園内の高低差が大きい。「ジブリパーク」の整備に合わせ公園の価値と魅力を向上させるとともに、来園者の増加に対応するため、休憩所や案内所の新設、既存施設の再整備・ユニバーサルデザイン化が必要とされていた。
- ・新型コロナウィルス感染症の拡大に伴い、落ち込んだ地域経済を取り戻すきっかけとして、ジブリパークの開園が期待されており、その機運をさらに盛り上げるため、公園施設の拡充が求められていた。



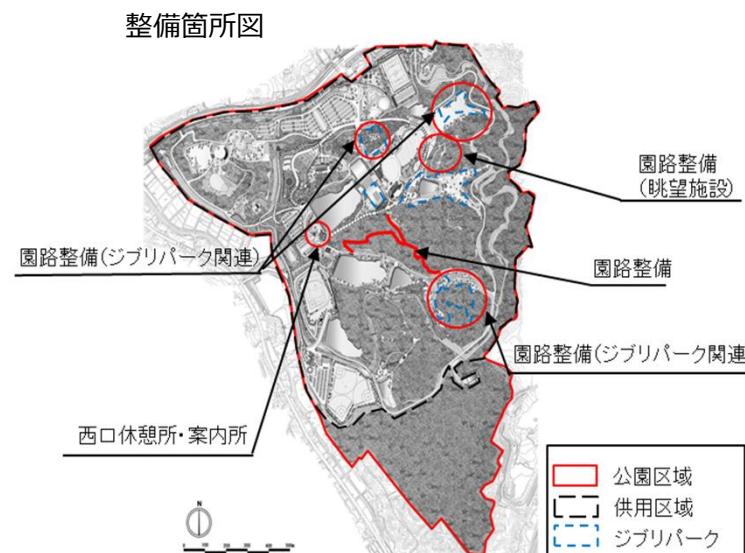
【社会課題に対応した公園整備】

- ・多様な人々が自由に、かつ安全に楽しむことができるよう公園施設のユニバーサルデザイン化に努めるとともに、コロナ後を見据えて、ジブリパークの開園を契機に、地域の活性化と人々との交流の場の創出を図るために公園施設を整備する。



取組の概要

- 「ジブリパーク」の整備に合わせ公園の価値と魅力を向上させるとともに、「ジブリパーク」の開園に伴う来園者の増加に対応するため、休憩所や案内所の整備を行う。
- 整備に当たってはハンディキャップを持っている方々の意見を取り入れる。



実施体制

【実施体制】

主担当部署

【計画・検討段階】
都市・交通局公園緑地課（2名）

【実施段階】
都市・交通局公園緑地課
政策企画局ジブリパーク推進課（15名）

関係部署

出先機関
(発注担当)

愛・地球博記念公園（愛知県）（3 / 9）

取組の背景

時期	内容
R1年度	ジブリパーク整備の基本方針を策定（愛・地球博記念公園の都市公園としての位置づけや整備方針を定めた。）
R2年度	公園施設の設計を開始・愛・地球博記念公園の事業計画変更認可申請
R2年度以降	公園施設の再整備に着工
R4年度	一部の公園施設再整備工事完了。ジブリパーク（3エリア）の開園
R5年度	ジブリパーク（2エリア）の開園
R6年度	公園施設再整備工事の完了



ハード面のモデル性

- ジブリパーク整備と同調し、本公園とジブリパークを眺望する展望施設の整備や、スタジオジブリ作品の世界観と調和するように舗装材や植栽の樹種など、材量・材質を選別した園路・広場整備を進めることにより公園そのものの魅力を高め、公園利用者の増加と交流を促進。
- 木製デッキ園路の老朽化を踏まえ、公園利用者の安全性と快適性を向上させるため再整備を行うとともに、自然環境の改変を極力避け、里山の風情を実感できる整備を実施。
- 公園施設として休憩所や案内所を整備拡充することで、利便性の向上を図るとともに、キッチンカーによる飲食フェアや物産展などのイベントが創出されるよう、屋根付きテラスを兼ね備えた休憩スペースを設けた。



西口管理事務所



園路整備



西口案内所・休憩所（左：遠景、中央：屋根付きテラス、右：内観）



ハード面のモデル性

- 公園施設の新設・再整備に当たり、設計段階において障がい者団体に対して公園施設の整備内容について意見聴取を行い、トイレへの経路、ドアの色、点字ブロックの配置、スロープの手すりの形状など、バリアフリーの基準を満たすだけでなく、ハンディキャップを持っている方々の意見を取り入れた施設の整備を実施。
- 整備を行う休憩所では、バリアフリートイレの設置、授乳室の設置等により多様な人が快適に過ごせる環境を創出。
- 多様な人々が快適に過ごせるよう、展望台へ向かう園路と併設して移動円滑化施設（スロープカー）を整備した。これにより、大人から子供まで、また、足の不自由な人等あらゆる人が展望台を利用することが可能となった。



移動円滑化施設（スロープカー）



授乳室

■ プロセス面のモデル性

- 2022年3月に「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン（国土交通省）」が改訂され、バリアフリー化においては当事者等からの意見聴取実施・反映が望ましいとされており、障がい者団体に意見聴取したところ、トイレへの経路やドアの色、点字ブロックの配置、スロープの手すりの形状など、様々な意見が寄せられた。これらの意見を踏まえて、バリアフリートイレは車椅子が転回できるスペースを確保するなど、できる限り意見を反映した施設（主にトイレ）整備を行った。



バリアフリートイレ（外観）



意見聴取の様子



バリアフリートイレ（内観）



施設案内における点字表記

愛・地球博記念公園（愛知県）（7 / 9）



- 施設の整備にあたっては、木の伐採を極力抑えるとともに、周囲の自然に合うような配色・素材を使うよう心掛けた。



ユニバーサルデザイン対応した施設数（施設）

従前値：40施設（R3）　目標値：46施設（基準年度：R6）　評価値：45施設（R4）

公園の年間利用者数（人）

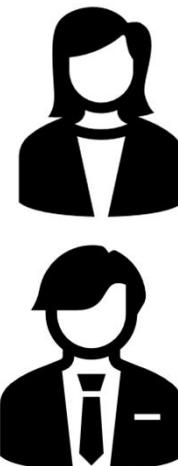
従前値：86.6万人（R2）　目標値：280万人（基準年度：R6）　評価値：182.2万人（R4）

公園の年間利活用数(回/年)※1,000人以上が来場した持ち込みイベント

従前値：8回（R2）　目標値：20回（基準年度：R6）　評価値：22回（R4）



関係者の声



行政担当者

【公園緑地課職員】

- ・本事業における役割・担当について
予算の要求・執行管理、関係機関との事業調整を担当しました。
- ・本事業でやりがい・楽しさを感じた点
事業前に比べて公園利用者が増加し、園内がとてもにぎわっている。また、バリアフリーとして整備した施設を移動手段としても楽しんでいただけており、来園者の皆さん多くの笑顔を見ることができ、やってよかったです。
- ・本事業で苦労した点
開園しながらの事業であったため、来園者の安全を確保しながら新規整備や再整備が必要になり、多岐にわたる関係機関との調整に苦労しました。
- ・今後取り組んでいきたいこと（新たに取り組むこと・継続したいこと）など
今回整備した施設の維持管理を適切に行い、いつでも様々な来園者に満足してもらえる質の高い公園を目指していきたいです。



地域の方

【地元の声】

- ・スロープカーを使って眺望の良い展望台に行けたので、非常に助かりました。スロープカーで移動中も周辺の景色を楽しみながら移動できたのもよかったです。
- ・バリアフリートイレが車いすのまま入ることができて、とても利用しやすかったです。
- ・授乳室が公園内にたくさんあり、きれいでだったのでよかったです。
- ・ジブリパーク内だけでなく公園全体で満足することができました。今度はサイクリングロードやスケート場も楽しんでみたいです。



参考資料

- ・愛知県広域緑地計画
([愛知県広域緑地計画の改訂について - 愛知県](#))
- ・都市計画決定
(<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/400214.pdf>)
- ・愛知県地域強靭化計画
(<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/400214.pdf>)

【業務・工事等発注】

種別	概要	年度	受注者
工事	西口案内所建設工事	令和4年度	鈴中工業株式会社
工事	西口案内所空調・管工事	令和4年度	株式会社池田産業
工事	西口案内所電気工事	令和4年度	株式会社関電工事
工事	園路工、橋梁工、排水工、水路工、照明工、手すり工、建築工、設備工	令和4年度～令和5年度	鹿島建設株式会社中部支店
工事	スロープカー設備工事	令和4年度～令和5年度	泉陽興業株式会社

三楽公園（小金井市）（1/9）



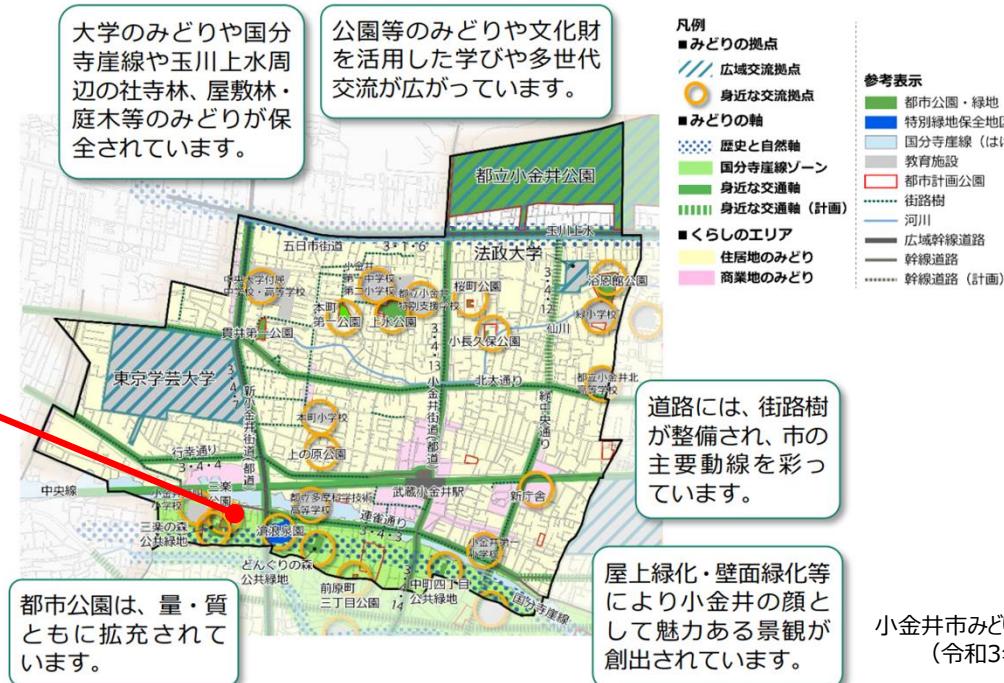
公園の概要

- 事業主体：東京都小金井市
- 所在地：小金井市貫井南町三丁目6番
- 公園種別：街区公園
- 供用面積：0.42ha
- 主な公園施設：ブランコ、滑り台、砂場、ベンチ、照明灯、制札板、園名板、引込柱、バックネット、車止め、フェンス等

公園位置図



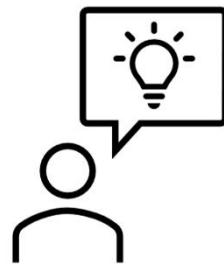
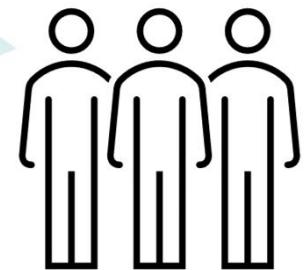
武藏小金井地区 みどりのまちづくり方針図



三楽公園（小金井市）（2 / 9）

【地域が抱える社会課題】

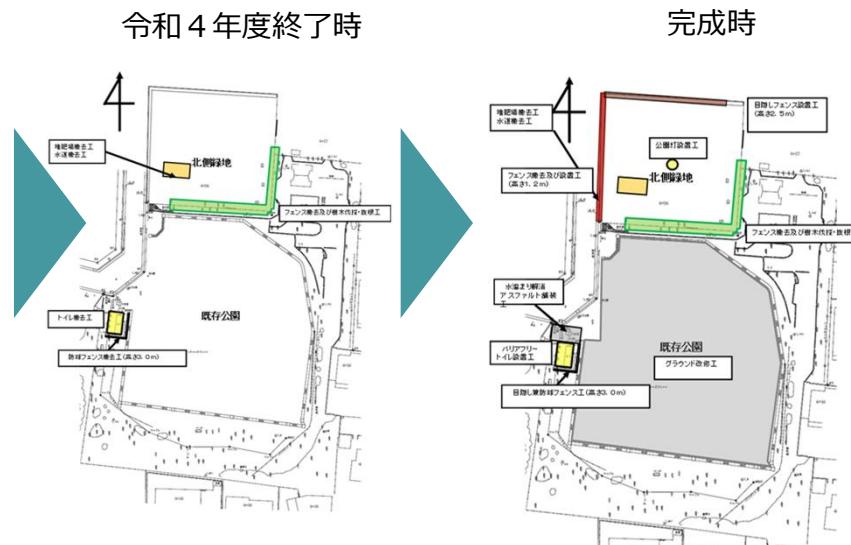
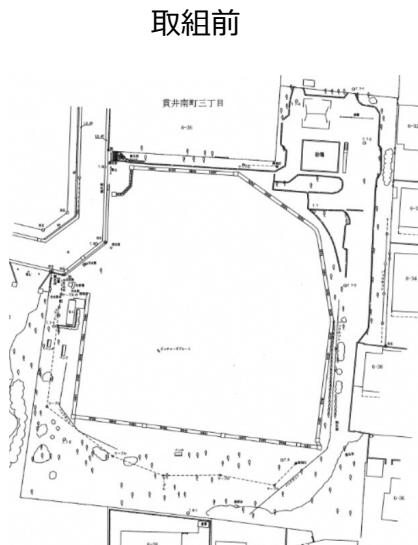
- 地元自治会等から提出された要望書においては下記 5 点が述べられており、協議の上整備を実施。
 - 樹木はできるだけ残し、自然を楽しめる場にしてほしい
 - 昆虫が集まる樹木や四季の草花を植え子供たちが自然を楽しみ、監察できる場所にして欲しい
 - 公園を取り巻く樹木は、木陰確保の観点から必ず残してほしい
 - トイレが清潔に保たれていないため、衛生面での改善をして欲しい
 - 雨が降ると多目的広場に水が溜まる場所が数か所あり、競技に支障をきたしている



【社会課題に対応した公園整備】

- 公園北側の緑地について、西側のフェンスを撤去および新設、公園灯の設置、北側のマンションと接する境に、目隠しフェンスを設置、また令和5年11月～12月にかけて、バリアフリータイプのトイレを設置。
- さらに、令和6年1月に砂埃り対策としてグラウンド改修工事を施工中。

取組の概要



実施体制

主担当部署

小金井市環境政策課緑と公園係
(担当者 2 名)

関係部署

建築営繕課
生涯学習課
児童青少年課
財政課
管財課

↔
連携

↑
調整

その他関係者

弁天通り自治会、関係住民、第四小学校、子供会、定期利用団体

三楽公園（小金井市）（3 / 9）

取組の背景

時期	内容
昭和57年度	三楽公園開園
平成4年度	既存トイレの設置
平成28年度	既存公園緑地所有者からの買取相談
平成30年12月	公園区域拡張の都市計画変更に伴う住民説明会を実施
平成31年度	都市計画の変更
令和3年3月	「小金井市みどりの基本計画」及び「第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画」を改訂
令和元年度 ～ 令和3年度	地元自治会、近隣住民、子供会、老人会、第四小学校、さわらび学童保育所の各代表者と協議
令和3年度	緑地部の用地取得
令和4年3月	小金井市中期財政計画（第5次基本構想・前期基本計画）を策定（三楽公園整備工事を掲載）
令和4年6月	整備工事に伴う住民説明会を実施
令和4年度	整備工事
令和5年3月	埋蔵文化財発掘調査に伴い発掘された文化財の見学会を実施
令和5年10月	花壇つくりのワークショップを実施



ハード面のモデル性

- 地元自治会、近隣住民、子供会、老人会、小学校、学童保育所等の多様な主体との協議を通じ、トイレのバリアフリー化や公園の快適性向上に資する整備を実施。
- 施工内容
 - 既存トイレから多目的トイレへの改修
 - 既存公園北側拡幅部の既存施設撤去
 - 拡幅部内に公園灯の設置
 - 既存公園内水溜り解消工事
 - 既存公園のグラウンドの改修工事
 - 緑地西側のフェンス撤去及び新設（1.2m）・北側に目隠しフェンス（高さ2.5m）の設置



既存トイレから多目的トイレへの改修



既存樹木を生かした公園整備
(環境学習の場)



砂埃対策としてグラウンド改修工事を
施工中



ソフト面のモデル性

- ・自治会や関係住民、近隣小学校や学童、関係課と協議し、また、事前に工事に関する説明会を開催することで、地元の理解を得ることができている。
- ・砂埃りの対策としてグラウンド改修施工を実施したが、施工までの間は近隣の学童保育所の先生によるホースでの水撒き等の協力をしてもらうなど、近隣との連携を実施した。
- ・現場施工日に市職員が現場に行けない場合においても、地域住民による施工内容の報告があるなど、近隣住民による理解が進められていた。



三楽公園整備工事説明会の様子①
(令和4年6月21日に実施)



地元と協働で行った花壇つくり①



地元と協働で行った花壇つくり②

三楽公園（小金井市）（6/9）



プロセス面のモデル性

- 令和3年度に小金井市立小金井第四小学校の70周年事業の実施に伴い、周年事業と連動させるかたちで、児童に身近な縁に親しむ機会として、三楽公園の樹木の樹名板の設置するための事業を行っている。
- 平成31年3月「小金井市公園等整備基本方針」に地域の核となるような重要な公園等であり、理想的な公園像に向けて、重点的に公園等のあり方を誘導していく公園・緑地として、位置付けている。
- 自治会、地域住民の中心人物、近隣の小学校、学童保育所及び関係する課を含めて、適宜連携を取りながら整備を慎重に進めている。
- 公園と隣接するさわらび学童保育所と連携して公園内の花壇をつくった。
- 整備工事の掘削に伴い埋蔵文化財発掘調査を行い、発見された文化財について、小金井市立小金井第四小学校の小学生たちを招待して見学会を行った。



花壇を新たに学童と一緒に作りました
(令和5年10月25日に実施)



発掘された文化財の説明会の様子
(令和5年3月21日に実施)



70周年事業の様子
(令和3年度に実施)

三楽公園（小金井市）（7 / 9）



緑の充実

- 地元自治会等から提出された要望書においては緑について下記3点が述べられており、協議の上整備を実施。
 - ① 樹木はできるだけ残し、自然を楽しめる場にしてほしい
 - ② 昆虫が集まる樹木や四季の草花を植え子供たちが自然を楽しみ、監察できる場所にして欲しい
 - ③ 公園を取り巻く樹木は、木陰確保の観点から必ず残してほしい
- その他、令和3年度に三楽公園に隣接する小金井市立小金井第四小学校の70周年事業の実施に伴い、周年事業と連動させる形で児童に身近な緑に親しむ機会として、三楽公園内の樹木の樹名板の作製を実施。
- 本事業において拡幅する北側の緑地は国分寺崖線沿いにある貴重な樹木が多くあり、小中学校の子供たちの環境学習の貴重な場となるよう、自然公園的な要素を取り入れることとしている。



▲花壇の植え替えワークショップの様子(令和5年10月25日実施) 市HPより引用



評価指標

ユニバーサルデザイン対応の利用満足度 (%)

従前値：トイレ改修時に確認（R5） 目標値：公園整備1年後にアンケートを実施（基準年度：R6）

近隣住民・エリアマネジメント団体の満足度 (%)

従前値：整備工事後に確認（R5） 目標値：公園整備1年後にアンケートを実施（基準年度：R6）



関係者の声



行政担当者



地域の方

【環境政策課職員】

- ・本事業における環境政策課の役割・担当について
整備工事の前段での自治会や関係住民等との協議や説明会等、国費や都費等の補助金に関する全般、整備工事の設計・積算業務
- ・本事業でやりがい・楽しさを感じた点
工事が開始となり、目に見える形で公園内の様子が変化し、とてもやりがいを感じた。
また、整備工事を通じて地元自治会や近隣小学校、学童保育所との繋がりができた。
- ・本事業で苦労した点
地元の周辺自治会や関係住民等と令和元年度から協議を開始し、また、整備事業が延伸したことから、令和5年度までの長期間となる事業となり、5年間に亘る長期事業となつたため、その間に関係者たちとの協議、補助金の申請及び設計及び積算業務等様々な苦労があった。
- ・今後取り組んでいきたいこと(新たに取り組むこと・継続したいこと)など
整備事業によって構築された信頼関係を今後も引き続き大切にし、今回モデル公園として選定された三楽公園の質を向上できるように努めていきたい。

【地元の声】

- ・トイレが使用できない期間も水洗タイプの仮設トイレを設置し、公園利用者に配慮してくれた。
- ・トイレがバリアフリー化され、とても利用しやすくなった。
- ・第四小学校の小学生向けに埋蔵文化財発掘調査で発掘された文化財の見学会はとても良い機会になった。
- ・グラウンドから発生する埃にはこれまで悩まされていた。砂埃の対策を行ってもらい大変有難い

三楽公園（小金井市）（9 / 9）



参考資料

- ・ 三楽公園HP (<https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/479/kouenitiran/sanrakukouen.html>)
- ・ 小金井市 みどりの基本計画
(https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/479/keikakuhousin/green_masterplan2021.files/green_masterplan2021.pdf)
- ・ 基本計画策定員会
(<https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/singikaitou/syuryousitasingikaitounoitiran/midorisakuteiinkai.html>)
- ・ 小金井市中期財政計画
(<https://www.city.koganei.lg.jp/smph/shisei/seisakukeikaku/tyokikankeisiryo/daigoji-zenki/tyuuza-202110.html>)
- ・ 第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画（令和3年3月策定）
(<https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/473/kankyokekaku/ondankakeikaku/D0401010202103251059.html>)
- ・ 小金井市都市計画マスターplan全編及び概要版（令和4年8月）
(<https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukeikaku/machitoshi/machizukuri/toshiseibi/toshimasu-zen-gaiyou/R4-8toshimasusakutei.html>)
- ・ 三楽公園花壇の花を子どもたちと植え替えました（さわらび学童保育所協働企画）
(<https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/479/kouenitiran/sanrakukadan2023.html>)

【業務・工事等発注】

種別	概要	年度	受注者（指定管理者）
工事	既存トイレ、既存樹木及び既存フェンス撤去工	令和4年	新発田建設株式会社
調査	埋蔵文化財発掘調査	令和4年～5年	国際文化財株式会社
工事	既存樹木撤去工	令和4年	新発田建設株式会社
工事	既存樹木撤去工、フェンス及び公園灯設置工	令和4年～5年	新発田建設株式会社
工事	トイレ及びフェンス設置工、グラウンド改修工	令和5年	関建設工業株式会社

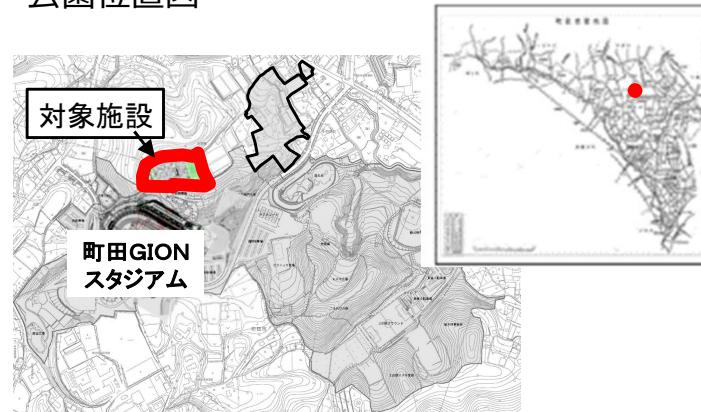
野津田公園（町田市）（1/8）



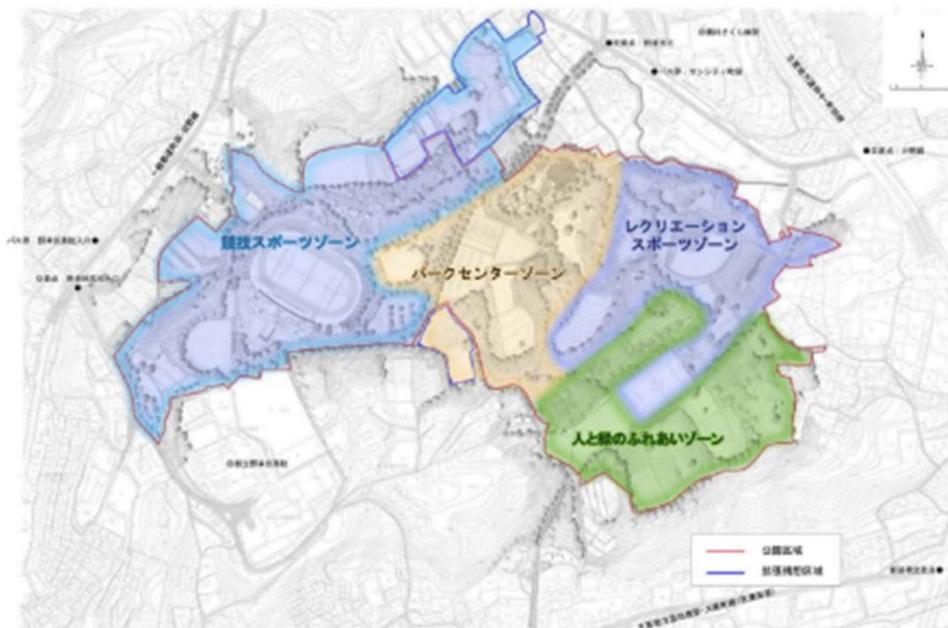
公園の概要

- 事業主体：東京都町田市
- 所在地：町田市野津田町2035番地
- 公園種別：総合公園
- 供用面積：42.3ha
- 主な公園施設：
【第1期整備施設】多目的グラウンド、クラブハウス
(多目的グラウンド)、テニスコート、駐車場
- ※補助対象施設：テニスコート

公園位置図



～取組テーマ～



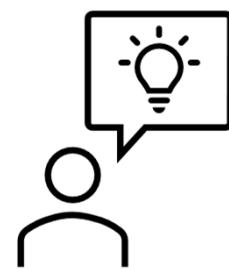
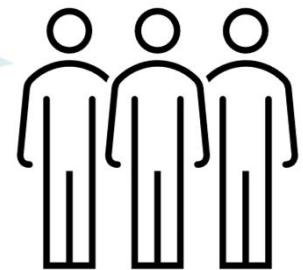
町田市第二次野津田公園整備基本計画より引用（平成31年）

ゾーン	ゾーンの考え方
パークセンター・ゾーン	<ul style="list-style-type: none">既存の桜並木に導かれて入る玄関口としての広い「もてなし」の空間を設定し、野津田公園の緑を背景に空間を魅力づける花や家族が手軽に楽しめる施設で迎えるものとする。また、ゾーン南側に隣接する畠地は、その平坦な広がりが公園の貴重な広場空間となるため、公園区域に取り込んで多目的に利用できる広場とする。
競技スポーツゾーン	<ul style="list-style-type: none">陸上競技場に隣接する多目的広場や芝生広場の造成平坦面に、体育館やイベント広場を、ばら園とその東側に続く広い緩斜面には、テニスコート・多目的グラウンドなどの大規模な競技施設の整備を図り、パークセンター・ゾーンと連携して多くの観客や利用者を迎える空間とする。
レクリエーション・スポーツゾーン	<ul style="list-style-type: none">既存の野球場やグラウンドの他は、自然 地形や樹林、草地を活かした規模の小さな施設やウォーキングなどのコースで構成し、既存の自然と一体となる利用空間を目指す。
人と緑のふれあいゾーン	<ul style="list-style-type: none">市民の利用や活動のための最小限の管理・便益施設にとどめ、既存の散策路や子どもの遊び場として有効活用を図るものとする。

野津田公園（町田市）（2/8）

【地域が抱える社会課題】

- 公園利用・活動の多様化や健康意識の高まりから、公園に対する需要や野津田公園を取り巻く環境が変化し、新たなニーズに対応でき、多世代が魅力を感じる公園施設が求められている。



【社会課題に対応した公園整備】

- 公園施設を整備することにより、競技スポーツから健康スポーツまで幅広いスポーツ活動の拠点となり、これまで散策としてのみ利用していた高齢者の方々でも手軽にスポーツに接することができるようになることで活動の場が広がり、健康の維持・増進につなげることができる。
- 公園の整備にあたっては、利用者目線での計画となるよう、市民や有識者による懇談会や、市民やスポーツ団体等の意見を参考に検討を実施。
- 多世代が魅力を感じる公園施設となるよう、今後の予定として、スケートパークやインクルーシブ遊具といった子供の遊び場などの整備を進めていく。



取組の進捗・成果



取組前



町田市第二次野津田公園整備基本計画より引用（平成31年）

取組後



実施体制

主担当部署

都市づくり部公園緑地課（担当者 2 名）

↓
事業実施後の運営

指定管理者

野津田公園（町田市）（3/8）

取組の背景

時期	内容
平成25年度	市民や有識者による懇談会や、市民やスポーツ団体等の意見収集による再整備基本計画案の検討 町田市都市計画マスタープラン策定
平成26年度	町田市第二次野津田公園整備基本計画策定
平成27年度	緑の基本計画を改定。野津田公園の再整備事業を位置付け
令和1年度～	再整備事業（多目的グラウンド、テニスコート整備等）の着工
令和4年度	再整備事業（多目的グラウンド、テニスコート整備等）の工事完了
令和5年度	開園

【取組の工夫点】

- ・平成26年度の町田市第二次野津田公園整備基本計画策定では、多様な市民・専門家等からの意見を踏まえ、ニーズを的確にとらえた計画立案のため、懇談会による検討を行うとともに、市民意見の募集を実施。
- ・市民意見では、テニスコートの増設の要望や、市内のスポーツ団体からは公式な大会ができる8面以上のテニスコートの要望があり、陸上競技場北側の谷戸部に公式試合も可能なテニスコート（12面）の整備と夜間照明の設置など利用時間の拡大も可能な仕様とした。

野津田公園（町田市）（4/8）



ハード面のモデル性

- 公園の再整備にあたって、市民誰もがスポーツを楽しむことができるよう、下記施設の整備を実施・予定している。
 - 運動施設（テニスコート4面）及び、当該施設周辺の園路の整備（R4）
 - 第二次整備区域内のスケートパークについて基本設計を実施中（R5,6）
 - スケートパークの実施設計を実施（R7）、整備（R8,9）予定
- スポーツを通じて様々な主体が連携することで、まちの賑わいと連携が生まれ、市民の愛着と誇りが高まる 것을将来像とし、多世代が魅力を感じる公園施設の整備を実施している。
- 公園の整備にあたっては、利用者目線での計画となるよう、市民や有識者による懇談会や、市民やスポーツ団体等の意見を参考に検討を実施。



懇親会の様子



テニスコート利用状況



R4年度整備実施区域

町田市第二次野津田公園整備基本計画より引用（平成31年）

野津田公園（町田市）（5/8）



緑の充実

- 第二次野津田公園整備基本計画では、競技スポーツ等の幅広い活動やみどりを活かした自然のふれあい活動等ができる「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」を将来像に掲げ、事業を推進してきた。今後は更に、R7、R8でスケートパーク等を整備し「自然とのふれあい活動が楽しめる公園づくり」を推進していく。
- 野津田公園内の自然環境の保全状況や地形的な特性等に基づく空間構成を活かして、4つにゾーニングを行い、導入する公園施設を決定。緑地の魅力向上については、人と緑のふれあいゾーンと位置づけ、子ども達が自然を生かして遊べる空間の整備や、自然体験・活動の拠点となるネイチャーセンターの整備等を順次実施予定。



人と緑のふれあいゾーン拡大図



里山の雑木林管理イメージ



はらっぱ南側丘陵部

町田市第二次野津田公園整備基本計画より引用(平成31年)



評価指標

公園内テニスコートの利用者数（人）

従前値：22,000人（基準年度：R1）目標値：50,000人（基準年度：R6）評価値：28,743人（R5.4-12）

野津田公園（町田市）（6/8）



関係者の声



【公園緑地課職員】

・本事業において設計及び施工管理を担当しました。
今回のテニスコート整備は、12面の内4面の一部整備でした。未着手の個所が民有地となるため、現段階で様々な影響が生じないよう配慮しつつも、将来に整備する際の設計に問題が生じたり、多額な費用が発生しないよう、検討しながら整備しました。



行政担当者

【公園緑地課職員】

・本事業において、計画及び関係機関との調整を担当しました。
町田市初のスケートパークを計画するにあたり、「野津田公園次期整備についてのアンケート」を実施しました。
アンケートでは、スケートパークに対する期待の声や、自然を保護してほしい等様々なご意見を頂くことがございました。意見の集約や反映に苦労しましたが、市内最大の総合公園として相応しいスケートパークを目指す上で、魅力的な空間にする必要があるため、引き続き検討を行って参ります。



地域の方

・テニスコート12面整備の計画どおり、残り8面の整備も進めて欲しい。
・計画に伴い、今後更なる整備が進められていくが、野津田公園の豊かな自然とスポーツ施設が調和するような整備として欲しい。
・自然あふれる野津田公園の良さを生かし、利用者が自然や生き物について学べる場となるよう、自然観察会など、現在ある取り組みの更なる充実を図って欲しい。



参考資料

- 町田市第二次野津田公園整備基本計画
(<https://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/park/shisetu/nozuta/nodutakeikaku.html>)
- 町田市都市計画マスターplan
(<https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/sumai/toshikei/toshikeikaku/masterplan-kentou.html>)
- 野津田公園次期整備についてのアンケート結果
(https://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/park/shisetu/nozuta/noduta_enquete.html)

野津田公園（町田市）（8/8）



参考資料

【業務・工事等発注】

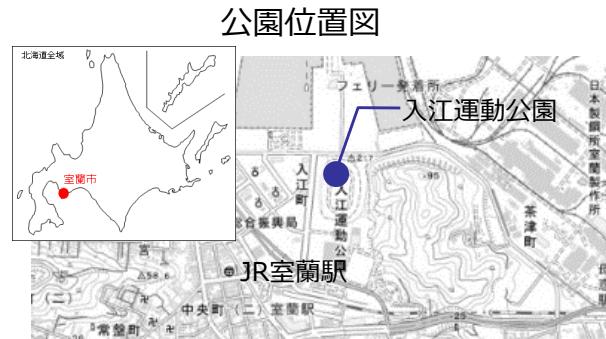
種別	概要	年度	受注者（指定管理者）
設計	野津田公園拡張区域基本設計業務委託	平成29年	株式会社 協和コンサルタンツ東京支社
設計	第二次野津田公園整備実施設計業務委託	平成30年	サンコーコンサルタント株式会社 多摩営業所
工事	野津田公園拡張区域整備工事（その1） (多目的グラウンド整備)	平成31年 令和1年	大日本・岳大特定建設工事共同企業体
設計	野津田公園テニスコート整備修正設計業務委託	令和2年	サンコーコンサルタント株式会社 多摩営業所
工事	野津田公園拡張区域整備工事（その2） (多目的グラウンド整備)	令和3年	株式会社イワヲ建設
工事	野津田公園拡張区域整備工事（その3） (テニスコート整備)	令和4年	株式会社地研
設計	野津田公園スケートパーク基本設計業務委託	令和5年	N i X J A P A N 株式会社 東京本社
設計	野津田公園スケートパーク基本設計業務委託 (その2)	令和6年	N i X J A P A N 株式会社 東京本社
指定管理	野津田公園全体の指定管理	平成21年～	スポーツパークパートナーズまちだ

入江運動公園（室蘭市）（1/9）



公園の概要

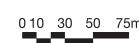
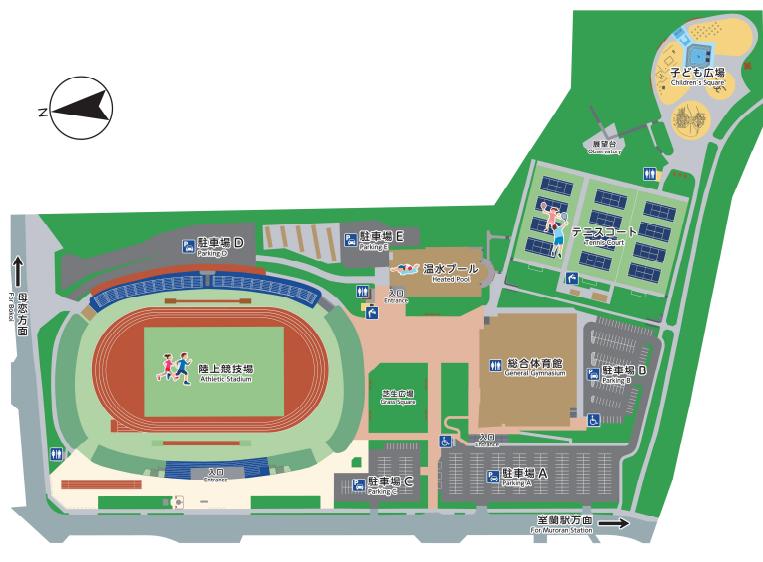
- 事業主体：北海道室蘭市
- 所在地：室蘭市入江町、茶津町
- 公園種別：運動公園
- 供用面積：18.1ha
- 主な公園施設：陸上競技場、総合体育館、温水プール、多目的運動広場、子どもの広場、水の遊び場、テニスコート



※地図は国土地理院の淡色地図を加工し作成。



入江運動公園 Irie Sports Park

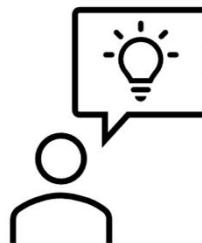
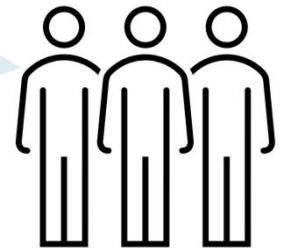


左上：総合体育館、右上：陸上競技場
左下：テニスコート、右下：子ども広場

入江運動公園（室蘭市）（2/9）

【地域が抱える社会課題】

- ・都市公園は充足しているものの、市内全域の公園施設全体とスポーツ施設（多くが都市公園に分散配置）の老朽化が顕著。
- ・今後さらなる人口減少が予想され、現状の都市公園の維持が困難となる。また少子高齢化に伴い、子育て支援・高齢化対応が都市公園に求められている。



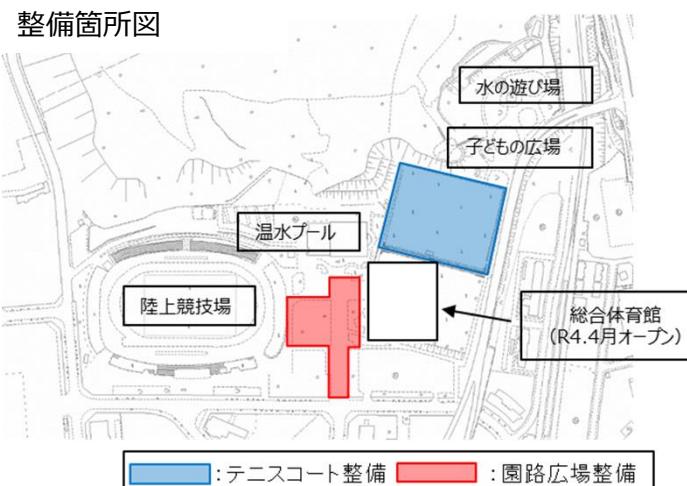
【社会課題に対応した公園整備】

- ・中島公園内にあった旧体育館（1970年築、2022年3月閉館）や市内に点在していたテニスコートを、市内唯一の運動公園である入江運動公園に移転・集約（別事業を活用）し、入江運動公園を、既存の温水プール・第2種公認陸上競技場と併せ総合スポーツパークとして機能を充実させ、スポーツ施設の総量と財政負担の縮減（9施設から4施設に縮減）、並びに子育て支援と高齢化対応・スポーツ交流を核とした賑わい創出を目指す。
- ・入江運動公園のスポーツ機能を活用し、スポーツ・都市公園・福祉・商業など、幅広い分野が連携した事業を開いた。また、入江運動公園は、立地適正化計画における都市機能誘導施設である「屋内外の子育て支援施設」として位置付け、本計画に基づく再整備にあわせ、各種プログラムやイベントの開催等により子育て支援機能の充実を図り、周辺の公有地等を活用した居住誘導施策との連携により、子育て世代の居住を誘導し定住人口の拡大を目指した。



取組の概要

- 市内に点在していたテニスコートを集約し、全道規模の大会誘致が可能なテニスコートを整備。
- 周辺からの視認性を向上させることにより利用者を呼び込む広場を整備。
- 高齢者や子育て世代が参加できる健康づくりプログラムや、地元商店街等との官民連携による賑わい創出プログラムを開いた。



実施体制

主担当部署

都市建設部都市政策推進課（3名）
教育部生涯学習課（2名）
都市建設部土木課（3名）

入江運動公園（室蘭市）（3/9）

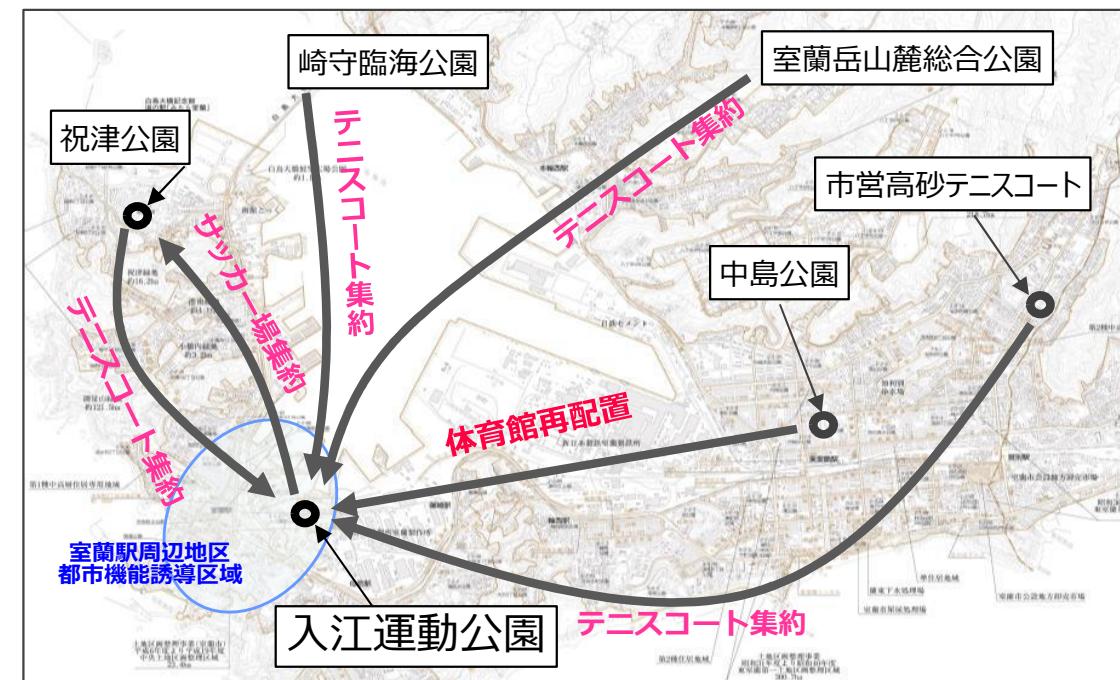
取組の背景

時期	内容
平成29年度	立地適正化計画の策定に着手、施設の再編集約を推進することを庁内で意思決定
平成30年度	市内5会場で住民説明会を実施 総合体育館等の基本設計
令和元年度	各競技団体に基本設計説明、利用ニーズ及び課題等ヒアリング 総合体育館等の実施設計
令和2年度	総合体育館新設
令和3年度	駐車場及び園路、広場整備着手
令和4年度	社会課題対応型都市公園機能向上促進事業を活用した整備（園路・広場・テニスコート等）を開始 駐車場及び園路、広場整備完了、テニスコート実施設計
令和5年度	テニスコート整備完了



ハード面のモデル性

- 大規模都市公園におけるスポーツ機能再編を進めるため、本事業の活用以前に移転新設した総合体育館の外構整備やテニスコートの整備等により、既存の温水プール・第2種公認陸上競技場と併せ総合スポーツパークとして再整備を実施した。（下線部を本事業で実施）
 - R2～R3年度 体育館新設
 - R3～R4年度 駐車場及び園路、広場整備
 - R5年度 テニスコート新設
- 大規模都市公園におけるスポーツ機能再編を進めるに当たり、都市計画マスターplanや立地適正化計画で策定の背景となった人口減少と少子高齢化といった課題に対して「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方を示し、それに対応するため立地適正化計画、緑の基本計画及びスポーツ施設ストック適正化計画で入江運動公園にスポーツ施設を再編、集約する明確な方針を示し公園整備を進めることで、スポーツ施設の総量と財政負担の縮減、子育て支援と高齢化対応、並びに周辺地区との回遊性向上を図り、スポーツ交流を核とした賑わい創出を目指した。



上：テニスコート整備状況、下：総合体育館前広場整備状況

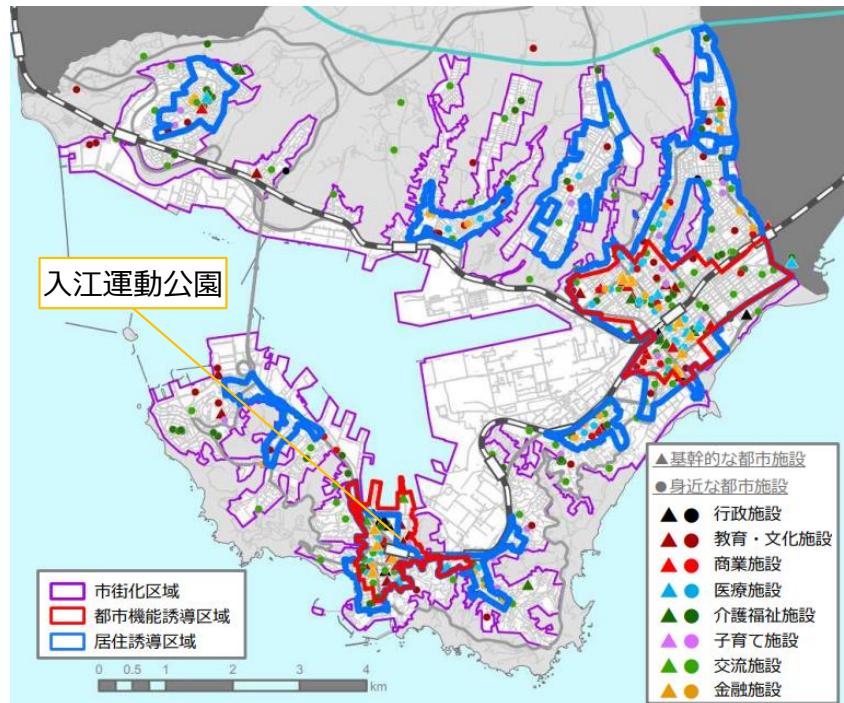
入江運動公園へのスポーツ施設の集約

入江運動公園（室蘭市）（5/9）



ハード面のモデル性

■室蘭市立地適正化計画における都市機能誘導区域と居住誘導区域



■都市機能と居住を誘導するために取り組む施策（抜粋）

ストーリー 1

公共施設の拠点集約と再編による市民サービス充実

公共施設の集約・再編及び公的不動産（PRE）の活用

- 生涯学習センターの整備により、4施設を1施設に集約
- 図書館・科学館の整備により、2施設を1施設に集約
- 入江運動公園に体育館やテニスコートなどのスポーツ機能を集約・再編
- 公的不動産（PRE）の活用

民間活力を活用した事業の推進

- 生涯学習センターの整備・運営
- 図書館・科学館の整備（運営の検討）
- 入江運動公園に整備する体育館やテニスコートなどのスポーツ機能の整備・運営方法の検討
- 公的不動産（PRE）の活用による民間活力の導入の検討

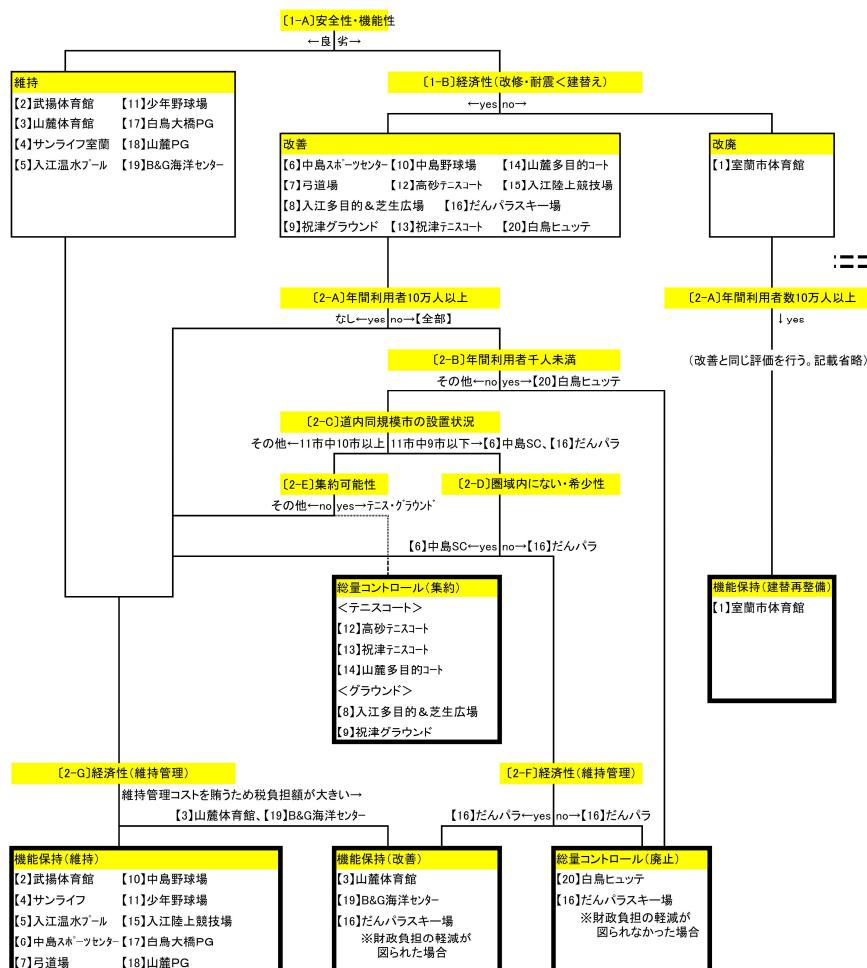
公営住宅の再編

■室蘭市スポーツ施設ストック適正化計画

安全性、機能性、経済性、利用状況、同規模市における設置状況、圏域内での希少性、集約化可能性から市内のスポーツ施設を評価

1 評価結果（全体）

前章の考え方に基づく、各スポーツ施設の評価結果と、計画期間における基本方針は次のとおりです。



*白鳥大橋PG=白鳥大橋パークゴルフ場、山麓PG=山麓総合公園パーク・グラウンドゴルフ場

ソフト面のモデル性

- 地域の福祉事業者等と連携した元気な高齢者の健康増進等に資するプログラムや子育て世代が参加できる健康づくりプログラム（「ボッチャ」をして、合間におしゃべりも楽しみながら交流する高齢者向けイベント「ぼっ茶カフェ」や、「ニュースポーツフェスティバル」、親子で参加できるボール遊びプログラムなど）を展開した。また地区内の商店街等と連携し、大規模スポーツ大会参加者などの公園利用者をターゲットとした地域内消費の喚起（地元飲食店の共同出店など）、室蘭駅周辺地区都市再生整備計画と連携した回遊性向上等幅広い分野が連携した事業（デジタルサイネージでの地元商店街のPR、まちあるきを促す看板やパンフレット等）を展開し、官民連携による賑わい創出を目指した。
 - R4～R5年度 都市再構築戦略事業を活用した体育館整備や環境科学館・図書館の合築整備および地元商店街等と連携した取組を推進
 - R5年度～ 商店街の空き地を活用したイベント開催やまちづくりセミナーや講演会を開催、環境科学館・図書館と体育館のデジタルサイネージで互いの情報発信や商店街の情報発信、利用者へ商店街で特典が受けられるキャンペーン実施
 - 体育館や競技場での各種大会やイベント開催時に整備した広場へキッチンカーや物販ブースを出店



デジタルサイネージで
地元商店街をPR

地元商店街の
オープンスペース
を活用したイバ
ント開催



まち歩きを促すため、
みなとまち散策路の
看板設置



広場を活用したイベント開催



緑の充実

- 芝生広場等の緑地を活用した多世代が参加できる健康イベントの開催や地元ウォーキング協会へ北側樹林地を含めたルートを推奨する等、緑に多く触れることのできる空間づくりを目指している。



評価指標

再編する都市公園内のスポーツ施設利用者数（人/年）

従前値：29.0万人（H30） 目標値：33.4万人(基準年度：R5) 評価値：32.4万人

再編する都市公園内のスポーツ施設の管理経費（千円/年）

従前値：125,700千円（H30） 目標値：119,000千円(基準年度：R5) 評価値：138,000千円

都市公園の子育て世代の満足度（%）

従前値：27%（H28） 目標値：33% (基準年度：R5) 評価値：48%

都市公園の高齢者の満足度（%）

従前値：27%（H28） 目標値：33% (基準年度：R5) 評価値：44%



関係者の声



行政担当者



地域の方

【都市政策推進課 職員】

- ・本事業での役割：事業内容の府内合意までの調整、都市再生整備計画の運用
- ・本事業でやりがい・楽しさを感じた点：数十年に一度の大きな規模の事業に携わることができ、また都市再生整備事業と両輪で進めることで事業促進に寄与できた点
- ・本事業で苦労した点：国、道との調整や府内の関係課との合意に至るまでの協議
- ・今後取り組んで行きたいこと：室蘭駅周辺地区の回遊性向上や賑わい創出に取り組んでいきたい

【土木課 職員】

- ・本事業での役割：交付金申請等の国、道との協議、施設整備に係る工事発注業務
- ・本事業でやりがい・楽しさを感じた点：数十年に一度の大きな規模の事業に携わることができ、まちの機能が変化する過程を経験できた点
- ・本事業で苦労した点：施設を供用しながら周辺整備を実施するための工程管理
- ・今後取り組んで行きたいこと：市民が安心安全に利用できる施設整備に努めていきたい

【生涯学習課 職員】

- ・本事業での役割：事業内容の府内合意までの調整、スポーツ施設の利用団体との協議
- ・本事業でやりがい・楽しさを感じた点：数十年に一度の大きな規模の事業に携わることができ、利用者ヒアリングを実施して誰もが利用しやすい施設整備ができた点
- ・本事業で苦労した点：スポーツ施設の利用団体との協議
- ・今後取り組んで行きたいこと：多世代が参加できるイベントや健康プログラムを実施し、スポーツを通じた交流人口の増加を目指していきたい

【地元の声】

- ・運動施設としての使い方だけではなく、様々な交流事業で活用できる工夫がされており、再び訪れたいと思う施設で良かった
- ・これまで市外で開催されていた大会が、室蘭市の体育館や競技場を活用する事案が増えており、室蘭の経済効果に繋がっている
- ・多くの利用者が訪れるが、自家用車で来る場合が多いため、地元商店街を利用する機会があまりない。地元商店街と連携しながら、利用者に気軽に地元飲食店等にも立ち寄ってもらえる工夫が必要ではないか

入江運動公園（室蘭市）（9/9）



参考資料

・室蘭市緑の基本計画

(https://www.city.muroran.lg.jp/assets/images/content/content_20241128_093616.pdf)

・室蘭市都市計画マスタープラン

(https://www.city.muroran.lg.jp/assets/images/content/content_20240524_142306.pdf)

・室蘭市立地適正化計画

(https://www.city.muroran.lg.jp/assets/images/content/content_20240624_184148.pdf)

・スポーツ建設ストック適正化計画

(https://www.city.muroran.lg.jp/assets/images/content/content_20240513_163145.pdf)

【業務・工事等発注】

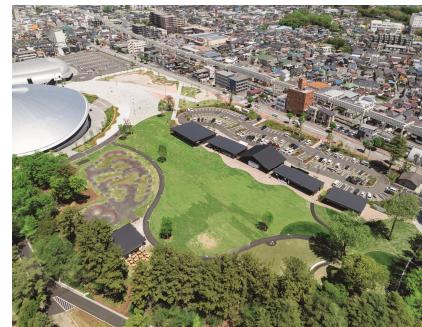
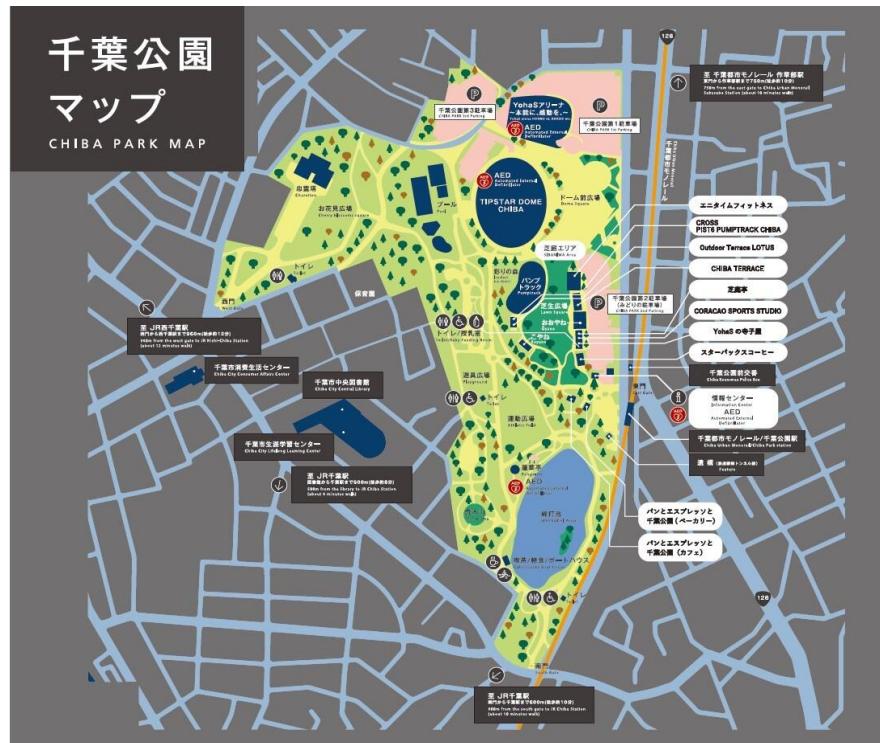
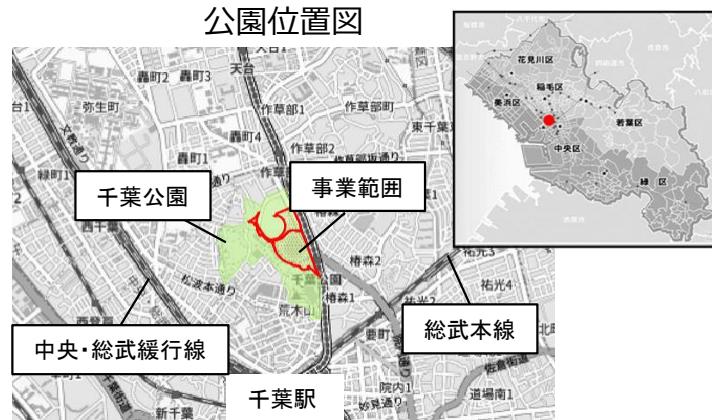
種別	概要	年度	受注者
設計	テニスコート実施設計	令和4年度	(株)シン技術コンサル
工事	広場、園路整備	令和4年度	大内・早坂・佐々木 特別共同企業体
工事	駐車場舗装新設	令和5年度	(有)丸商
工事	テニスコート敷地造成	令和5年度	栗林機工・木下 特別共同企業体
工事	テニスコート路盤改良	令和5年度	新和・北興・藤川 特別共同企業体
工事	テニスコートフェンス設置	令和5年度	木島・川田・拓美 特別共同企業体
工事	テニスコート照明設備新設	令和5年度	大同・太平 特別共同企業体
工事	テニスコート舗装新設	令和5年度	富士・菱中・日ノ出 特別共同企業体

千葉公園（千葉市）（1 / 9）



公園の概要

- 事業主体：千葉県千葉市
- 所在地：千葉市中央区弁天3丁目1外
- 公園種別：総合公園
- 供用面積：186,189.73m²
- 主な公園施設：園路広場、植栽、駐車場、飲食店等



事業区域の航空写真



パンプトラック

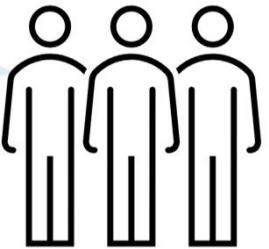


おおやね



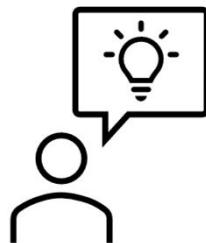
芝庭

千葉公園（千葉市）（2 / 9）



【地域が抱える社会課題】

- ・千葉公園は開園から70年以上が経過し、多くの施設で老朽化や陳腐化が進み、公園の魅力が低下している。
- ・千葉駅北エリアのリノベーションの核として、時代にあった新たな魅力を導入し、さらなる賑わいや交流を生み出す公園として生まれ変わることが必要。



【社会課題に対応した公園整備】

- ・スポーツゾーン、遊びゾーン、水辺ゾーン、やすらぎゾーンの4ゾーンに分けリニューアルを進める。
- ・スポーツゾーンの一部である、野球場跡地及び周辺エリアを、「賑わいエリア」として芝生をメインとしたオープンスペースへリニューアルし、P-PFI事業者が飲食等を提供する拠点施設を設置。隣接するドーム前広場については市の整備後、P-PFI事業者が賑わいエリアと一体で管理運営を行う。
- ・賑わいエリアについては花木等の植栽、隣接エリアにある池へのビューポイントの整備を事業提案の要件とした。



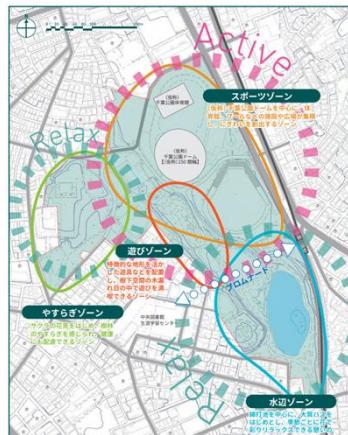
取組の概要

- 公園の資源、特性を活かした再整備と運営を行う。
- 本事業では、隣接するティップスタードームチバやP-PFIにより整備される商業施設と一体的な利用が可能となるよう、舗装広場、芝生広場の整備・管理を実施。

取組前の現況と事業範囲



再整備プラン（ゾーニング）



再整備プラン（整備イメージ）



実施体制

主担当部署

公園緑地部緑政課（1名）
(再整備計画策定、P-PFI公募)
公園緑地部公園建設課（3名）
(整備)

千葉公園（千葉市）（3/9）

取組の背景

時期	内容
平成27年度	「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」策定 (千葉公園が位置する千葉駅北エリアは「公園や文教施設を活かしたまちづくり」との方向性が示される。)
令和元年度	市民意見募集の結果を踏まえ、「千葉公園再整備マスタープラン」を策定。（千葉公園の再整備事業の方向性を決定。）、また、官民連携による新競輪場（ティップスタードームチバ）の整備着手 千葉公園の再整備に向けたマーケット型サウンディング調査を実施
令和2年度	「賑わいエリア」「ドーム前広場」整備・運営事業についてPark-PFIを活用した事業手法の検討を開始。ドーム前広場実施設計完了 千葉公園再整備の方向性について、「千葉公園再整備マスタープラン」を基に地元自治会等へ説明
令和3年度	公募条件を整理するため、公募指針（案）に対する意見を求める「サウンディング型市場調査」を実施 (4月～6月)、千葉公園「賑わいエリア」「ドーム前広場」整備・運営事業（Park-PFI）の事業者公募（9月～12月）、選定（2月）
令和4年度	「賑わいエリア」設計協議（Park-PFI）、再整備に関する地域住民説明会を開催
令和5年度	整備道路安全対策などに関する地域住民説明会を開催、市による「賑わいエリア」・「ドーム前広場」の整備
令和6年度	「賑わいエリア」開園、Park-PFI事業者による「賑わいエリア」「ドーム前広場」の管理運営



ハード面のモデル性

- 隣接する多目的スポーツ施設（ティップスター・ドームチバ）とP-PFIによって整備・管理・運営される都市公園の空間を整備、一体的な空間とすることで事業間の相乗効果を発揮、都市に賑わいを創出した。
 1. 隣接するティップスター・ドームチバと一体的な利用が可能となるよう舗装広場、芝生広場を整備する。
 2. 隣接するドーム前広場と一体的な利用が可能となるよう芝生広場を整備する（運営はドーム前広場と一体で行う。）。
- 「ドーム前広場」の工事はR5.8.7竣工。「賑わいエリア」の工事はR6.3.29竣工。



各施設の位置関係



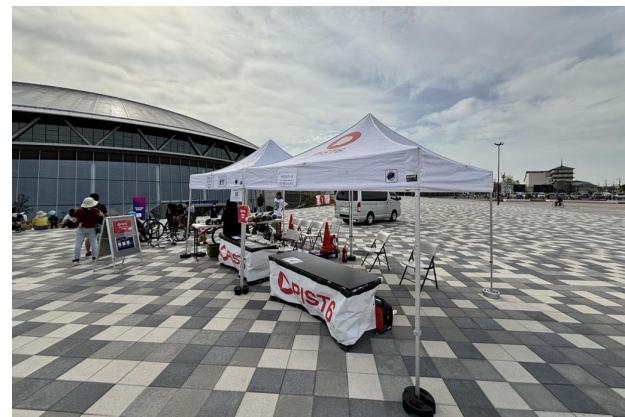
「賑わいエリア」
整備状況



「ドーム前広場」整備状況

ソフト面のモデル性

- P-PFIによって整備、管理運営される都市公園の空間と、都市公園と隣接する多目的スポーツ施設等を一体的な空間として整備し、その後、多目的スポーツ施設や周辺の取り組みとイベント開催時の広報活動等で連携することにより、事業間の相乗効果の発揮による都市の賑わい創出を目指した。
- R5年度は、隣接の多目的スポーツ施設等（ティップスタードームチバ）と連携するイベント（自転車の啓発を目的としたオフロードバイク体験会）を「ドーム前広場」において3回実施。
- 20年間（R5～R25）、P-PFI事業者が「賑わいエリア」「ドーム前広場」の管理運営を実施することとなっており、R6年度は、賑わいづくりのイベント（緑を生かしたイベント（木の実クラフト教室など）、スポーツイベント、食をテーマにしたイベントの他季節催事）の他、千葉公園を含む周辺エリアの活性化に向け、公園に隣接する商業施設の事業者、地元商店街や周辺企業、学校関係者といったステークホルダーとワークショップを実施。



ドーム前広場におけるオフロードバイク体験会（R5年度）の様子



緑を生かしたイベント等、賑わいづくりのイベント（R6年度）の様子

千葉公園（千葉市）（6 / 9）

緑の充実

- 地域と公園をつなぐ箇所に位置する駐車場周辺において、植物の観察園となるよう約50種類の植物を植栽することで、日常生活の中で何気なく多様な自然に触れ合う機会を創出し、自然環境への関心度を一層向上できるよう計画した。また、管理運営においては、民の資金による「緑の多様な機能・特性を活かした事業」を実施することを要件とした。



植栽した主な植物



公園の緑と調和する壁面緑化。豊かな植栽が魅力のD'sグリーンパレットや太陽光発電を活用する雨水循環型壁面緑化を採用。



緑の多様な機能・特性を生かした事業



評価指標

隣接道路（千葉公園通り）の歩行者数（人）

従前値：158万人（R2） 目標値：200万人（基準年度：R6） 評価値：R7.6頃記載予定

モノレール千葉公園駅利用者数（人）

従前値：13万人（R2） 目標値：25万人（基準年度：R6） 評価値：R7.6頃記載予定



関係者の声



行政担当者

【公園緑地部緑政課 職員】

- ・本事業における役割・担当について
→P-PFI制度を活用した公園整備にあたり、公募から整備に至るまでの事業を担当。公募前から地元自治会や関係団体への協議や説明会等を行ってきた他、国費や市債に関する業務を担っている。
- ・本事業でやりがい・楽しさを感じた点
→今回の再整備によって、公園全体が明るくなり、若い人たちや小さな子ども連れのファミリーなどのニーズにフィットして、新たな層の市民が足を運んでくれるようになった。誰もが気軽に集まる芝生広場では、実際にそこで来園者が休憩していたり、会話していたり、日常の中で思い思いに楽しまれる様子を見ることができ、嬉しく思っている。
- ・本事業で苦労した点
→地元自治会や地域住民、千葉公園に係るステークホルダーの方々への協議は丁寧に行ってきた。また、公園内で施工される他部署の工事との調整も苦労した。
- ・今後取り組んでいきたいこと（新たに取り組むこと・継続したいこと）など
→今後も千葉公園の再整備は継続していくことから、今回整備したエリアの状況、利用者の声を十分踏まえた上で方向性を定めていきたい。



地域の方

【地元の声】

- ・とてもキレイになって嬉しい ありがとうございます。
- ・（前は鬱蒼としていて少し怖かったが）明るく良いイメージになってとても嬉しい。
- ・子どもの頃に何度も来た事がある 今回リニューアルしたとの事で何十年ぶりに来るきっかけとなった。
- ・きれいな公園になって犬のお散歩が楽しくなった。
- ・近所に住んでいるがどう変わるのが楽しみだった こんなに変わって良くなるとは思わなかったのでとても嬉しい。



参考資料

- ・公募設置指針
(<https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/ryokusei/documents/sisinn1025.pdf>)
- ・公募設置指針添付資料 位置図
(<https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/ryokusei/documents/te1.pdf>)
- ・公募設置指針添付資料 事業範囲図
(<https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/ryokusei/documents/te2.pdf>)
- ・千葉市緑と水辺のまちづくりプラン
(https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/ryokusei/documents/midori_plan.pdf)
- ・千葉公園「賑わいエリア」「ドーム前広場」整備・運営事業について
(<https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/ryokusei/tibakoenkobo.html>)
- ・千葉公園再整備マスタープラン
(https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/ryokusei/documents/chibapark-mp_m1.pdf)
- ・千葉駅周辺の活性化グランドデザイン
(<https://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/keikaku/documents/granddesign2020.pdf>)



【業務・工事等発注】

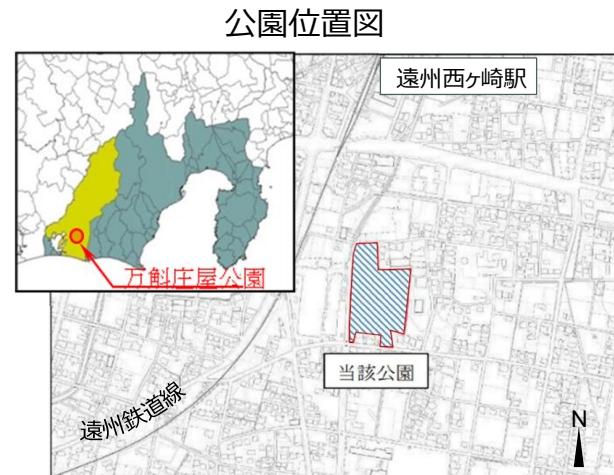
種別	概要	年度	受注者
工事	千葉公園再整備基本設計業務委託	R1	株式会社緑景
工事	千葉公園再整備ドーム前広場実施設計業務委託	R2	株式会社緑景
工事	千葉公園再整備共有広場整備工事（R4-1）	R4	林・植忠造園JV
工事	千葉公園再整備共有広場整備工事（R4-3）	R4	三協緑化・拓殖造園JV
工事	千葉公園再整備共有広場電気設備工事（その2）	R4	小峯電業株式会社
工事	千葉公園再整備事業工事監督支援業務委託	R4	株式会社セット設計事務所 東関東支店

万斛庄屋公園（浜松市）（1 / 9）



公園の概要

- 事業主体：浜松市
- 所在地：静岡県浜松市中央区中郡町980
- 公園種別：近隣公園
- 供用面積：1.4ha
- 主な公園施設：園路、広場、駐車場、トイレ



母屋（古民家レストラン「鈴松庵」）



屋敷門（表門）



園地の様子

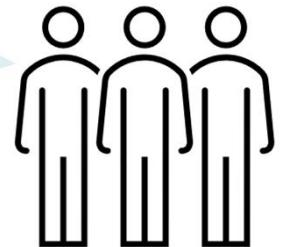


遊具広場

万斛庄屋公園（浜松市）（2 / 9）

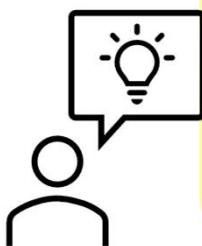
【地域が抱える社会課題】

- ・ 地域高齢者が公園の維持管理に努めており、活動又は活躍できる場の継続が求められていた。
- ・ 子供や子育て世代が安心して利用できる身近な公園が不足しており、子供の居場所づくりが本地区が抱える地域課題となっていた。



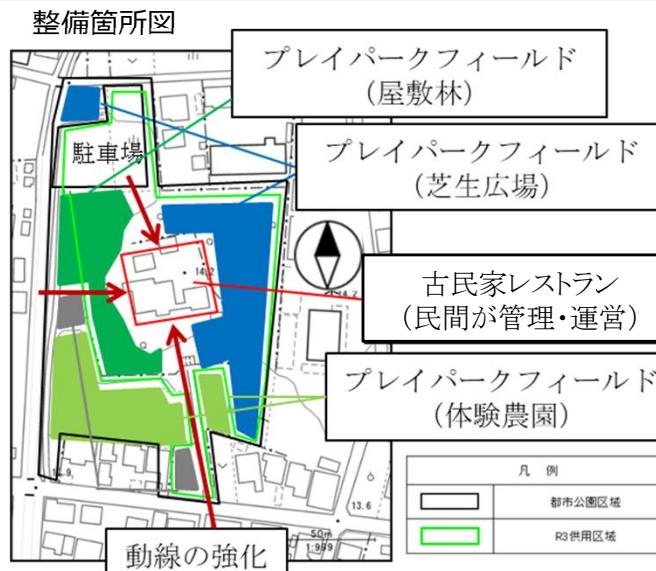
【社会課題に対応した公園整備】

- ・ P-PFIで整備された古民家レストラン（旧鈴木家屋敷跡建屋を活用）への動線確保や、地域に不足している子供の遊び場や子育て世代が安心して利用できる公園環境を整えるとともに、弓道場・射場（帰一庵）を活用したプレイパークの場として定期的なイベント等の実施により、子供や子育て世代の利用者を増加させ、子供の居場所づくりを実現。
- ・ プレイリーダーに地域の高齢者を配置し、単なる遊びだけではなく、日本の伝統文化や地域の歴史の学びの場と機会を提供。



取組の概要

- 動線の見直しや公園施設の再配置を行うことで、古民家レストランを核とした賑わい創出を図る。
- 自由な遊びを創造するプレイパークの場として、子供・子育て世代が安心して過ごせる芝生広場を整備する。
- 地域の高齢者をプレイリーダーに位置付け、弓道場・射場（帰一庵）や本公園特有の景観を活かしたイベント等を開催することで地域活性化や高齢者の活躍の場と子供・子育て世代の繋がりを創出する。



実施体制

主担当部署

都市整備部公園課（3名）

万斛庄屋公園（浜松市）（3 / 9）

取組の背景

時期	内容
H22年度	旧鈴木家屋敷跡地の土地・建屋が浜松市に寄付される。
H23年度	近隣4自治会によって「旧鈴木家屋敷跡地活用準備会」が発足。市と協力し、除草などの管理を開始、地域住民を対象とした屋敷説明会を実施。
H25年度	準備会が、積志地区自治会連合会をベースに「旧鈴木家屋敷跡地活用協議会」として再編。
H27年度	市は、市民・有識者・地域の代表によるワークショップを開催、「多世代みんなが集まり交流が生まれる公園」というコンセプトが決定。 地域住民が建屋存続を市へ要望
H28年度	建屋存続のため、近隣8地区の自治会長及び元自治会長14人が発起人となり、「NPO法人旧鈴木家跡地活用保存会」が設立。
H30年度	NPOが、建屋保存について市へ支援を要望、民間活力導入による保存を求める。
R1年度	サウンディング型市場調査を実施し、P-PFI制度による建屋（庄屋屋敷）の利活用を検討。
R2年度	緑の基本計画を改定し、当公園を身近な公園（住区基幹公園）の整備に位置付ける。P-PFI制度による設置等予定者を選定し、基本協定を締結。
R3年度	公募設置等計画を認定。公募対象公園施設を主たる公園施設に位置付け、公道等からのアプローチや園路、広場等、人流変化に対応した公園施設の再配置や機能強化について検討を始める。
R4年度	測量・実施設計、整備工事、プレイリーダーの養成、P-PFI事業者や地域住民を交えた意見交換会
R5年度	整備工事終了、P-PFI事業者や地域住民を交えた意見交換会 3月全体開設
R6年度	P-PFI事業者や地域住民を交えた意見交換会、地域住民との協力による花壇づくり



ハード面のモデル性

- 古民家レストランへの園路について、未舗装で歩きにくかったことに加え、古民家レストランの入り口が分かりにくかったことや植栽等の踏み荒らしを防ぐため、再整備を実施し公道や駐車場からの動線を確保するとともに、地域に不足している子供の遊び場となる芝生広場を整備することで、プレイパーク事業等との相乗効果による子供の居場所づくりに寄与した。
- P-PFIでは「忘れかけた日本的心再発見 ぐるりん童 故郷さがし」を事業コンセプトとし、公園内にコミュニケーションスペースを設置すること、人が集まる場を作ることとされていたため、子供の居場所づくりは、P-PFIの事業コンセプトとも整合するものである。



園路の整備状況

芝生広場

プレイパーク事業・遊具広場



ソフト面のモデル性

- 地域の元気で経験豊富な高齢者をプレイリーダーとして養成・配置することで、子供や子育て世代に単なる遊びだけではなく、伝統文化や地域の歴史（独礼庄屋（藩主に単独で目通りすることができる格式のあった庄屋）であった鈴木家と徳川家康、阿茶局との関係や、鈴木家と地域（地元）の関係などの解説、昔の遊びの紹介など）を学ぶサポートの実施が見込まれる「浜松式プレイパーク（NPO法人）」による子供の居場所づくりを実現する。
- 令和5,6年度は、市と協働で事業に取り組む団体による、親子で楽しむワークショップ（昔遊び、青空図書館、ターザンロープ、暗夜行路、紙飛行機づくり、カリグラフィーなど）を行った。



プレイリーダー養成講座



親子で楽しむワークショップ

万斛庄屋公園（浜松市）（6 / 9）

■ プロセス面のモデル性

- 公園の利活用や維持管理について定期的な意見交換を実施することで、P-PFI事業者と地域住民との連携が強化され、公募対象公園施設（弓道場・射場（帰一庵））を舞台に子供の居場所づくりだけに留まらず、地域コミュニティの拠点として地域の活性化に寄与する。令和5年度は、地域住民が開催したイベントへの協力として、弓道場・射場（帰一庵）の一部が開放された。令和7年度以降も、地域住民（NPO団体）とP-PFI事業者、市が相互協力して事業を行う。



【NPOと連携した花壇づくりの様子】

万斛庄屋公園（浜松市）（7 / 9）



- 本公園に残る古き良き景観（四季の移ろい）が次世代へと引き継がれるよう積極的な保全に取り組む。（NPO等による田んぼの管理など）



【地元小学生による田植えの様子】（NPOが指導）

【田植え直後】



評価指標

子供や子育て世代のイベントに係る数値（人）

従前値：430人・2回（R3） 目標値：1000人・6回（基準年度：R6） 評価値：327人・4回（基準年度：R5）

公園利用者数（人）

従前値：2,200人（R3） 目標値：4,400人（基準年度：R6） 評価値：1,473人（基準年度：R5）

※芝生広場の整備工事（10月以降）のため利用できなくなったため、人数減となった。



関係者の声



行政担当者



地域の方

【都市整備部公園課職員】

- ・本事業における役割・担当について
Park-PFI事業者と地元（NPO）との調整
- ・本事業でやりがい・楽しさを感じた点
市・地元・事業者の3者が、協力し合いながら公園を良くしようとしているところ
- ・本事業で苦労した点
地元、事業者とそれぞれ要望が出るため、対応が大変
- ・今後取り組んでいきたいこと（新たに取り組むこと・継続したいこと）など
市・地元・事業者による公園協議会の設立

【地元の声】

- ・地域の歴史に思いを巡らす場、人々のふれあいの場として日常的な賑わいのある公園であって欲しいと思います。



参考資料

- ・浜松市緑の基本計画
([浜松市緑の基本計画／浜松市](#))
- ・浜松市都市計画マスタープラン
([浜松市都市計画マスタープラン／浜松市](#))
- ・「はままつ公園づくりフォーラム大盛況！」
([はままつ公園づくりフォーラム大盛況！ | イベント | 万斛庄屋公園メイキングプロジェクト](#))
- ・浜松市HP（万斛庄屋公園）
(<https://www.city.Hamamatsu.shizuoka.jp/shise/toshisebi/kouen/mangoku.html>)
※サウンディング結果、公募設置等指針、公募内容（HP掲載時）、公募結果は、
「万斛庄屋公園」→「万斛庄屋公園開園までの変遷」で確認できます。

【業務・工事等発注】

種別	概要	年度	受注者
設計	(仮称) 万斛公園測量設計業務委託	平成28年度	株式会社フジヤマ
工事	(仮称) 万斛公園整備工事	平成30年度	日鉱産業株式会社
工事	万斛庄屋公園整備工事	令和元年度	嵯峨造園株式会社
設計	万斛庄屋公園修正設計業務委託	令和4年度	株式会社フジヤマ
工事	万斛庄屋公園整備工事 (敷地造成、植栽、雨水排水、園路広場)	令和4年度	株式会社山辰鉱産
工事	万斛庄屋公園整備工事 (植栽、園路広場、遊具・四阿設置)	令和5年度	天龍造園建設株式会社

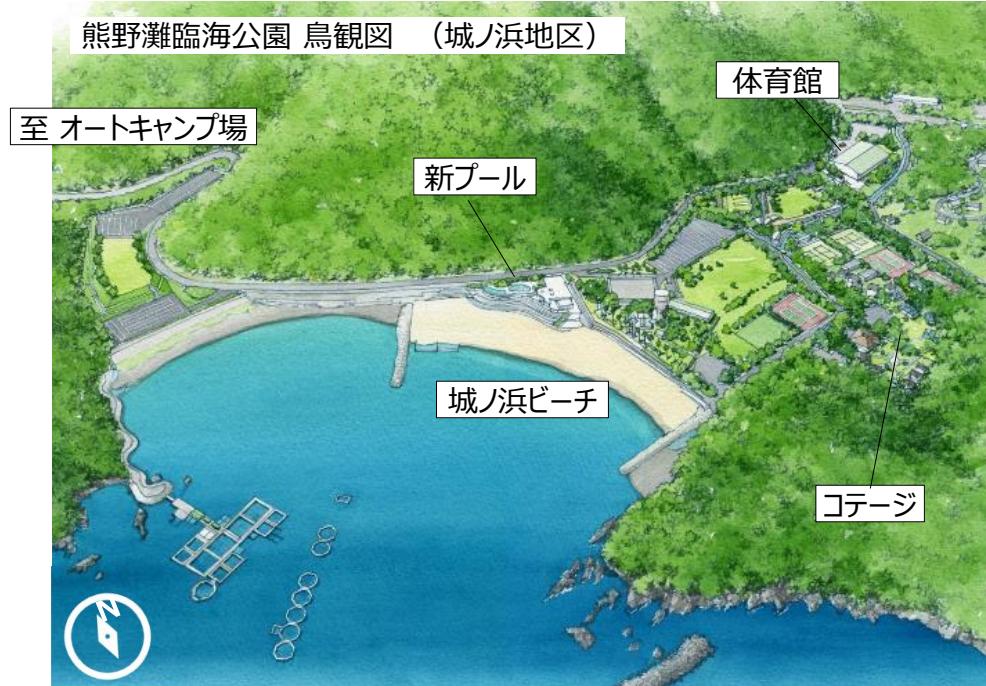
熊野灘臨海公園（三重県）（1/9）



公園の概要

- 事業主体：三重県
- 所在地：北牟婁郡紀北町東長島
- 公園種別：レクリエーション都市
- 供用面積：67.91ha
- 主な公園施設：キャンプ場、コテージ、海水浴場、体育館（フィットネスホール）、プール

公園位置図



新プール



コテージ



オートキャンプ場

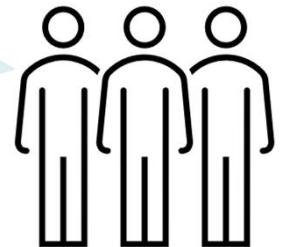


体育館（フィットネスホール）

熊野灘臨海公園（三重県）（2/9）

【地域が抱える社会課題】

- ・公園施設の多くで老朽化が著しく進み、利用者の安全確保への対応が求められていた。
- ・公園内に設置されていたプールがH29年の夏をもって営業停止して以降、公園利用者は大幅に減少しており（H29年：約73,000人→H30年：約63,000人）、さらなる誘客・集客などの対策が必要であった。



【社会課題に対応した公園整備】

- ・民間が運営する宿泊施設に隣接した海水浴場内に新プールを整備し、プールと海水浴場兼用の総合管理棟を新たに整備、管理運営の効率化、利用者の利便性向上、民間宿泊施設との相互活性化を図る。
- ・総合管理棟に地域の特産である木材をふんだんに使用することで、地域の魅力を発信する施設としての機能を付与する。諸室配置等については、民間が運営する宿泊施設の管理・運営ノウハウを聞き取り、利用者目線での計画となるようにし、機能の向上やリゾート景観への配慮に努める。
- ・新プール完成後に民間が運営する宿泊施設とタイアップしたイベントを開催することで、民間施設と連携したエリア価値の向上を図る。



取組の概要

- 海水浴場に隣接した箇所に新プールを整備し、新プール及び海水浴場利用者用兼用のリゾート景観に配慮した総合管理棟を整備。

取組前



完成時



実施体制

主担当部署

<予算調整等>
県土整備部都市政策課2名
<設計・施工、管理運営>
尾鷲建設事務所
管理課、道路・公園課5名

その他関係者

↑
利用促進検討会
(県、指定管理者、地元自治体
および観光協会等で組織)
※数回にわたり開催

熊野灘臨海公園（三重県）（3 / 9）

取組の背景

時期	内容
平成30年度	熊野灘臨海公園の公園施設について、見直しの必要性や取り組みの優先順位等を検討する「熊野灘臨海公園のあり方に関する検討会」を開催。各施設のあり方(プールを除く)に関する方向性を整理。
平成31年度	熊野灘臨海公園が抱えるプールの利用促進(集客・誘客・活性化)について、地域振興や観光振興など民間人なども含めた幅広い視点から検討を行う「熊野灘臨海公園の利用促進検討会」を開催。既存プールは撤去し、城ノ浜海水浴場にプール機能を整備する方針を決定。
令和2年度	プール再整備に向けた詳細設計実施
令和3年度	プール造成工事着手
令和4年度	プール本体および総合管理棟建築工事着手
令和5年度	工事完了、開園



ハード面のモデル性

- 民間宿泊施設や海水浴場に隣接する場所に、プールとビーチを一体的に楽しめる集客施設として、美しい景観を備えたリゾート型プールを整備した。
- 設計段階以前の基本構想段階から民間の宿泊施設の管理者に議論に参加してもらうことで、海水浴場との親和性のあるリゾート地として相応しいプール（インフィニティプール）を整備し集客力を高める方策、工夫等について知見（地域の特産である木材をふんだんに使用し、それをPRする等）を得た。また、隣接する宿泊施設と一体的な利用ができるよう宿泊施設からの動線確保（センターハウスやスロープを設置する等）の配慮を施した。



▲：城ノ浜プールと城ノ浜ビーチ



▲：子ども向けプールの巨大バケツ



▲：センターハウス（県産木材をふんだんに使用）



ソフト面のモデル性

- 「熊野灘臨海公園の利用促進検討会」での議論を踏まえ、指定管理者制度を活用し隣接する民間宿泊施設との一体的な維持管理/運営管理ができるよう配慮を施すとともに、令和6年度は宿泊者等の夜間利用を促すナイトプールを試行した。
- 三重県とイオン株式会社との包括連携に基づき、イオンモール四日市北店のイベントスペースを利用して県政情報の発信を行う取組のひとつとして、隣接する民間宿泊施設と関係自治体である紀北町と共にプールとビーチを活用した観光誘客の促進に取り組み、広域的な集客力強化を図った。



▲：夜間利用を促すナイトプールを令和6年度より試行



▲：イオンモール四日市北のイベントスペースを利用した広報活動状況
(三重県や指定管理者職員だけでなく、紀北町役場の地域おこし協力隊職員も参加)

■ プロセス面のモデル性

- 整備事業の計画検討にあたり、利用者目線での計画となるよう「熊野灘臨海公園の利用促進検討会」をおいて、紀北町や東紀州地域振興公社、隣接する民間宿泊施設の関係者等から意見を聞き取り、新プールの設営規模、位置、設備規格等を計画に反映した。



▲：「令和6年度 熊野灘臨海公園の利用促進検討会」の様子

熊野灘臨海公園（三重県）（7 / 9）

緑の充実

- プールサイドに植栽を取り入れるとともに、花壇を設け、ドラセナやココスヤシ等の植栽を行い、日陰を利用した休憩スペースを確保した。



評価指標

熊野灘臨海公園の利用者（人）

従前値：66.3万人（H30）　目標値：67.0万人（基準年度：R6）　評価値：68.3万人（R5）



関係者の声



行政担当者



利用者の声

【管理課 職員】

- ・利用促進や広報について、指定管理者のみならず、県の観光部局、地元自治体職員等との意見交換を複数回行うことにより、さまざまなアイディアを深めるとともに、協力関係を築くことができた。
- ・新規オープンに伴い大量の物品を発注することとなり、直前になって想定外の不具合等も発生したが、多方面の協力もあって乗り越えることができた。
- ・もともと、営業期間が短い（7月中旬～8月末）、悪天候や災害（地震・津波への警戒）により集客が左右されてしまうことが、指定管理者の採算面での課題となっている。
- ・海水浴場からの砂の飛散が多く、プールやセンターハウスの維持管理上の課題になっている。
- ・多くの来客がある一方、地元の方々の利用が少ないのが課題である。今後、地元の方々にリピーターとして利用していただくため、引き続指定管理者や関係団体等と検討を行っていきたい。

【道路・公園課 職員】

- ・土木工事だけでなく、不慣れな機械や建築の工事もある中での、狭小スペースで同時期の施工であり、また、時期的に鋼材や機器等の資材の手配がつかず、各々の工事が週毎に施工スケジュールが変更になり、工程管理に非常に苦労した。
- ・多くの関係者の声を反映しながら設計/工事を進める必要があり、手戻りが多く発生するなど現場担当者の負担は非常に大きかったが、開園後、TV等で喜んでもらえている利用者の声を聞いたときは、非常に嬉しかった。

- ・海水浴とプールを交互に遊ぶことができ、城ノ浜プール＆ビーチに家族で訪れやすくなった。
- ・海とプールが一体化して見て、写真映えする。
- ・巨大バケツは、特に小さい子どもが喜んでいる。
- ・オフシーズンもイベントをやっており、カフェが営業していて、景色を楽しみながら過ごすことができる。
- ・以前よりも料金が高くなつた（540円→1,100円）。リゾート地だから仕方ないけど、飲食も少し高く感じる。
- ・混雑日（土・日・お盆期間）は、駐車場や更衣室、プール等が大変混雑し、快適に楽しめない時がある。



参考資料

- ・紀北町第2次総合計画
([紀北町第2次総合計画／紀北町](#))

【業務・工事等発注】

種別	概要	年度	受注者
設計	城ノ浜淡水プール整備エリア設計	令和2年	中央コンサルタンツ株式会社
造成工事	盛土工・擁壁工	令和3年	株式会社平野組
本体工事	プール施設組立設置工	令和4年	株式会社平野組
付属施設工事	ろ過機本体設置	令和4年	株式会社サンシン
建築工事	機械室、プール・海水浴場総合管理棟建築工事	令和4年	株式会社平野組
機械設備工事	プール・海水浴場総合管理棟機械設備工事	令和4年	磯部工業株式会社
電気設備工事	プール・海水浴場総合管理棟電気設備工事	令和4年	尾鷲電設株式会社

河岸緑地（広島市）（1/8）



公園の概要

- 事業主体：広島市
- 所在地：広島市中区大手町五丁目23番地先ほか
- 公園種別：風致公園
- 供用面積：31.28ha
- 主な公園施設：植栽、花壇、ベンチ、園路、パーゴラ等

公園位置図



河岸緑地の詳細位置図

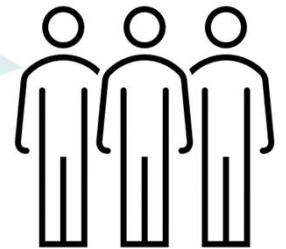


本事業で整備した園路

河岸緑地（広島市）（2/8）

【地域が抱える社会課題】

- ・ 河岸緑地は、河川空間の景観上の重要な要素となっているほか、安全で快適な歩行者空間や散策・休憩の場及び災害時の避難路などとしての役割も担っている。



【社会課題に対応した公園整備】

- ・ 水辺空間を心地よく、憩いや安らぎ、潤いを感じられる空間とするため、クスノキ等の常緑高木を中心に緑量を確保し、四季の変化を楽しめる花木や花壇を設置する。
- ・ 散策や休息、活動の場として多くの市民等が利用できる公園となるよう、パーゴラやベンチ等の休憩施設を設置する。
- ・ 安全で快適な歩行者空間を確保するため園路を整備する。

取組の概要

- 広島市中心部を流れる河川沿いの空間において、河岸部の特性を生かした親水性のある公園として整備を実施。

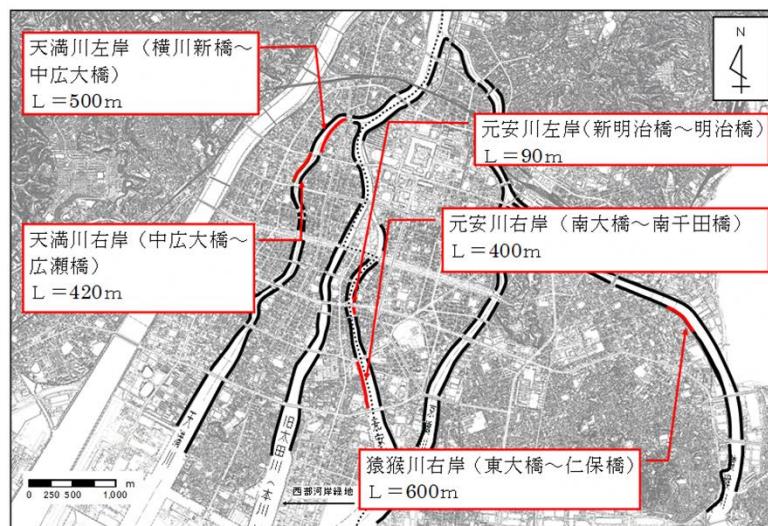
取組前



完成時



整備箇所図



実施体制

主担当部署

河岸緑地の整備箇所を管轄する区役所の地域整備課

その他関係者

河川管理者（国又は県）

河岸緑地（広島市）（3/8）

取組の背景

時期	内容
昭和55年度	昭和27年に策定された「広島平和記念都市建設設計画」の根幹的整備テーマの1つである“河岸美を生かした河岸緑地整備”にもとづき、都市環境向上への要望の高まりや河川の高潮対策事業計画の具体化などを踏まえ整備に着手
令和3年度まで	天満川、旧太田川、元安川、京橋川及び猿猴川の河岸において、計画延長47.7kmの整備に順次取り組み、令和3年度末時点で27.6km（整備率約58%）の整備を完了
令和4～5年度	西部河岸緑地(元安川右岸(南大橋～南千田橋))の測量・実施設計 東部河岸緑地(猿猴川右岸(東大橋～仁保橋)、元安川(新明治橋～明治橋))、西部河岸緑地(天満川左岸(横川新橋～中広大橋)、天満川右岸(中広大橋～広瀬橋)、元安川右岸(南大橋～南千田橋))の施設整備



ハード面のモデル性

- 川沿いに位置する散策路としての緑地機能だけでなく、災害時の避難路や隣接道路の歩道としての役割も担うため、河川管理道と兼用できるよう十分な幅員（3m）を確保した。
- 都心の川沿いに連続して整備される河岸緑地は、基幹道路等と接続（上下流の橋りょうや隣接する市道の歩道からのアクセスを確保）することで都心の回遊性を高め、更なる都心のにぎわいづくりに寄与する。
- 安全で快適な歩行者空間（夜間でも安全に利用できるよう照明灯を設置、市道から階段のみでしかアクセスできなかった箇所へのスロープの設置、休憩のためのベンチの設置）は、市民の運動等の活動の場となり、市民の健康増進につながることが期待される。
- 天満川左岸（横川新橋～中広大橋）、天満川右岸（中広大橋～広瀬橋）、元安川右岸（南大橋～南千田橋）、猿猴川右岸（東大橋～仁保橋）の施設整備については、令和5年度に完了。



整備後緑地



イベント開催時の緑地



スロープの設置

河岸緑地（広島市）（5/8）

緑の充実

- 豊かな水と緑に恵まれた魅力ある都市計画の形成や、水辺空間を憩いや安らぎ、潤いを感じられる空間とするため、親水性のある公園として整備しており、緑の帯が連続するよう常緑高木を主体とした緑量の確保に努めるとともに、川ごとに象徴となる花木の植栽や花壇の設置を行っている。



評価指標

河岸緑地の整備率（%）

従前値：57.7% (R3)

目標値：59.1% (基準年度：R5)

評価値：59.3% (R5)



関係者の声



行政担当者



地域の方

【地域整備課職員】

・本事業における地域整備課の役割・担当について
　安全で安心して通行できる園路整備及び河岸緑地の特性を活かした公園整備に係る設計から工事までを担当した。

・本事業でやりがい・楽しさを感じた点

施工現場が狭かったりと厳しい条件の中での施工ではあったものの、大幅な工程の遅れもなく安全に工事を進めることができたことに対して、大きな経験値を積むことができ、やりがいも感じることができた。
殺風景な河川管理道がカラー舗装や植栽等により華やかになる様を体感できることに、やりがい・楽しさを感じた。

・本事業で苦労した点

高潮対策事業の完了した河川堤防上に園路整備するため、河川管理者の占用許可が必要なことから整備内容や工事施工時期等の河川占用条件を満足する計画にする必要があり、協議に時間を費やし、様々な制約がかかってくる中で事業を進めなければならないことに苦労した。

また、維持費に限りがあるため、維持管理を考慮した植栽計画をたてる必要があった。

・今後取り組んでいきたいこと（新たに取り組むこと・継続したいこと）など

災害時等にも使用できるよう、防災機能を有した公園整備に取り組んでいきたい。

【地元の声】

- ・犬の散歩やウォーキングで利用しているが、川辺のため、心地よく、また、自動車が通らない園路なので、安心。
- ・照明灯が整備されているため、安全に夜のランニングコースとして利用できて嬉しい。
- ・高潮護岸整備前にあった桜を再び植えてほしいと要望したことに対して対応してもらえて良かった。
- ・上下流の橋りょう間を行き来できる通路が整備され、利用しやすくなった。



参考資料

- ・ 広島緑の基本計画
([広島市みどりの基本計画（2021-2030）～水・みどり・いのちの輝くまち ひろしまの実現～ - 広島市公式ホームページ | 国際平和文化都市](#))
- ・第3次「水の都ひろしま」推進計画
(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/236021.pdf>)

河岸緑地（広島市）（8/8）



参考資料

【業務・工事等発注】

種別	概要	年度	受注者
業務	西部河岸緑地（新明治橋～明治橋右岸）ほか1か所測量及び実施設計業務（3-1）	平成31年～令和2年	株式会社協和コンサルタント中国営業所
業務	西部河岸緑地（中広大橋～広瀬橋右岸）施設整備実施設計業務（2-1）	令和2年	株式会社LAT環境設計
業務	西部河岸緑地（横川新橋～広瀬橋左岸）測量及び実施設計業務（2-1）	令和2年～3年	株式会社LAT環境設計
業務	東部河岸緑地（東大橋～仁保橋）測量及び実施設計業務（2-1）	令和2年～3年	株式会社協和コンサルタント
工事	東部河岸緑地（東大橋～仁保橋）敷地造成工事（3-1）	令和3年～4年	有限会社光豊産業
工事	西部河岸緑地（中広大橋～広瀬橋右岸）整備工事（3-1）	令和3年	株式会社長原組
工事	東部河岸緑地（東大橋～仁保橋）照明灯設置工事（4-1）	令和4年	株式会社国栄電気商会
業務	西部河岸緑地（南大橋～南千田橋右岸）測量及び実施設計業務（4-1）	令和4年	株式会社荒谷建設コンサルタント
工事	西部河岸緑地（新明治橋～明治橋右岸）ほか1か所整備工事（4-1）	令和4年	株式会社都市開発工業
工事	西部河岸緑地（中広大橋～広瀬橋右岸）整備工事（4-1）	令和4年	谷川工業株式会社
工事	西部河岸緑地（横川新橋～中広大橋左岸）整備工事（4-1）	令和4年～5年	株式会社ミヤケン
工事	東部河岸緑地（東大橋～仁保橋）施設整備工事（4-1）	令和4年～5年	株式会社楠健
工事	西部河岸緑地（南大橋～南千田橋右岸）整備工事（5-1）	令和5年	新まるせ株式会社
工事	東部河岸緑地（東大橋～仁保橋）植栽工事（5-1）	令和5年	株式会社ランテック

猿渡公園（刈谷市）（1/9）



公園の概要

- 事業主体：愛知県刈谷市
- 所在地：刈谷市半城土西町2-4
- 公園種別：近隣公園
- 供用面積：3.3ha
- 主な公園施設：草原の広場、ミササガの森、お花畠（シバザクラ）、バラ園、花のトンネル（バラ）、望みの丘、ディキャンプ施設、水の広場、休憩所（ミササガ市庁舎風）、トイレ（ログハウス調）、メインゲート、友好記念モニュメント（熊）、50周年記念モニュメント（塔）、メイプルリーフ、複合遊具、友好の森、駐車場等



公園平面図

公園位置図



公園管理事務所（奥）、ベーカリーカフェ（手前）



ディキャンプ施設



シバザクラ

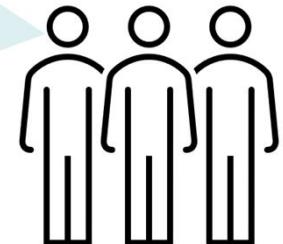


モニュメント（メイプルリーフ）

猿渡公園（刈谷市）（2/9）

【地域が抱える社会課題】

- バーベキューで発生するごみの放置や禁止エリアでのバーベキュー利用、周辺道路への路上駐車などが発生していた。
- 猿渡公園のシンボルであるシバザクラ・バラ園は、専門的な植栽管理が必要。
- 第3次刈谷市緑の基本計画で定めた「生活の“質をたかめる緑”的まちづくり」のうち、市民の健康づくりのニーズに対応するため、ウォーキングコースや健康遊具などの整備の推進が必要。



【社会課題に対応した公園整備】

- 猿渡公園の特徴をいかした効果的な再整備や、さまざまな課題に対応するため、『公募設置管理制度（Park-PFI）』及び公園全体を対象とした『指定管理者制度』の2つを合わせて導入し、民間の資金と創意工夫を取り入れることにより更なる賑わいを形成し、公園の利活用の促進と効率的で適切な維持管理を推進することとした。

取組の概要

- 特定公園施設（公園管理事務所、デイキャンプ施設、イベントステージ、自転車駐車場、インクルーシブな遊具等）を整備。
- 『公募設置管理制度』と『指定管理者制度』を同一事業者に行わせることで、一体的な公園整備・管理を実現。



実施体制

【計画検討段階】
主担当部署

都市政策部公園緑地課
(3名、うち技術職員2名)

【事業実施段階】
主担当部署

都市公園部公園緑地課
(3名)
都市公園部公園整備課
(3名、うち技術職員2名)

猿渡公園（刈谷市）（3／9）

取組の背景

時期	内容
令和4年度	第3次緑の基本計画を策定。指定管理者制度や公募設置管理制度（Park-PFI）※などの活用による公園整備を検討について記載。 整備事業に係る事業者公募・選定 募集説明会の実施 選定委員会の実施 設置等予定者の決定 特定公園施設の予算の議決
令和5年度	計画の認定・公示 基本協定の締結 特定公園施設譲渡契約の締結 猿渡公園条例の改正 整備事業の着手 ベーカリーカフェ、公園管理事務所、デイキャンプ施設等の整備が完了 特定公園施設の譲渡
令和6年度	リニューアルオープン、管理運営業務の開始 オープニングイベント（セレモニー、花植え・B B Qイベント等）を実施



ハード面のモデル性

■ 課題である「公園内の未利用地の解消」や「芝生広場の効果的な活用方法」を解決するため、以下の特定公園施設を必須提案とした。

- デイキャンプ施設（バーベキュー場、再整備）
- 公園管理事務所
- インクルーシブな遊び場に対応した遊具
- 自転車駐輪場、
- 休養施設（再整備）

■ 猿渡公園（＝ミササガパーク）としてのビジュアルアイデンティティの確立を図るため、公募対象公園施設と公園管理事務所に大きな三角の屋根をつけ、カナダ・ミササガ市（本市と姉妹都市連携）のシンボルマークをイメージできるように整備した。
■ 令和6年3月末に公園管理事務所、デイキャンプ施設、イベントステージ等の整備が完了した。



Park-PFIエリア整備現況



インクルーシブな遊具



公園管理事務所



デイキャンプ施設



シバザクラ

特定公園施設整備状況



ソフト面のモデル性

- 公園利用者に向けて遊具（フリスビー、モルック用具、フラフープ、竹馬、シャボン玉）のレンタルを実施している。また、バーベキュー場利用者に向けてアウトドアグッズの販売・レンタルを実施している。
- ホームページ、SNSを活用した広報活動を実施している。
- 令和6年4月のリニューアルオープンを記念し、オープニングイベント（セレモニー、花植え・BBQイベント等）を実施した。



オープニングイベントの様子

遊具等のレンタル

HP・SNSを利用した広報

■プロセス面のモデル性

- 『公募設置管理制度』及び『指定管理者制度』の2つの制度を合わせて導入し、更なる賑わいを形成し、公園の利活用の促進と効率的で適切な維持管理を推進。
- 事業者が公園全体を一体的に管理することで、供用開始後は公園の魅力を活かした様々なイベントが展開されている。



食育運動会・マルシェ



屋外映画上映会

猿渡公園（刈谷市）（7 / 9）



緑の充実

- 既存の花や緑を残しながら回遊性のある公園とした。また、猿渡公園の最大の魅力である、バラやシバザクラの維持及び知名度向上に向けて当該公園の基金創設、市民参加型イベントでの植替等を指定管理者で実施予定。



バラ園



シバザクラ



市民参加型イベントでの植替



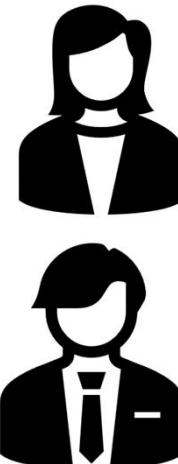
評価指標

当該公園の魅力向上に向けたイベント数（回）

従前値：0回（R4）　目標値：4回（基準年度：R6）　評価値：24回（R6）



関係者の声



行政担当者

【都市公園部職員】

- ・ P-PFIと指定管理者制度を合わせて導入するメリットは、施設配置計画に管理運営する面からの意見を反映できることや、施設設置から維持管理・運営迄一括して専門ノウハウのある事業者と契約でき、事業終了まで責任を持っての運営が期待できることが挙げられる。
- ・ 公募設置等計画の認定から基本協定の締結までの期間が短く、十分な設計期間を確保することができなかつたため、工事施工の際の確認事項が多く苦労した。
- ・ 本市で初めてP-PFI手法を用いた公園整備を実施した。今後は他の公園でも民間活力を活用した整備を模索し、魅力あふれる公園づくりを推進していきたいと考えている。
- ・ 令和6年度はリニューアル初年度ということもあり、主に指定管理者がイベント内容を企画、運営している。それにより、地域の方々や公園利用者から「自分達もこの公園でイベントを行いたい」との声をいただいている。今後はそういった方々と指定管理者が一緒になってイベント内容を考え、形にしていきたいと考えている。



地域の方

【地元の声】

- ・ 指定管理者制度を導入したことでの、公園全体に管理が行き届くようになった。特にBBQ利用者のマナーが向上した。
- ・ アンケート調査だけでなく、毎年、対面による懇話会を実施してくれるので、地元の意見も吸い上げてもらえる。
- ・ ドッグランが整備されたことで、ペットと一緒に公園を利用しやすくなった。



参考資料

- ・第3次刈谷市緑の基本計画
(https://www.city.kariya.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_001/013/296/midori_web.pdf)
- ・ミササガパーク公式ホームページ
(<https://mississauga-park.com/>)
- ・ミササガパーク公式ホームページ「オープニングイベントに多数のご来園ありがとうございました！」
(<https://mississauga-park.com/news/374>)
- ・第4次刈谷市都市計画マスターPLAN
(<https://www.city.kariya.lg.jp/shisei/machizukuri/1011777.html>)

【業務・工事等発注】

種別	概要	年度	受注者
協定	猿渡公園の公募設置等に関する基本協定	令和5年度	認定計画提出者（エリアワングループ）
指定管理	猿渡公園全体の指定管理	令和6年度～	エリアワングループ